

# 2025年度通常総会議案書

---

2025年6月16日

一般社団法人 山梨県情報通信業協会

# 2025年度通常総会

一般社団法人山梨県情報通信業協会

## 1 議事

第1号議案 2024年度事業報告及び  
2024年度収支決算書の承認について

第2号議案 理事選任について

## 2 報告事項

1) 2025年度事業計画及び収支予算書について

2) YSA 会費見直し特別委員会設置について

3) 新規会員の紹介について

【第1号議案】

2024年度事業報告（案）

自 2024年 4月 1日  
至 2025年 3月31日

## 1. 概況

2024 年は、世界的な選挙イヤーとなり、日米を含む世界各国でトップや政権の交代が起きました。我が国では、日経平均株価がバブル期を超える水準に達した他、日銀が 17 年ぶりに利上げに踏み切るなど、デフレ脱却に向けた大きな転換点を迎える年になりました。

経済の基調は、インフレ沈静化に伴う利下げ継続を背景に緩やかな成長トレンドが続くと想定されます。しかしながら、世界経済は第 2 次トランプ政権の政策に大きな影響を及ぼすことが想定され、選挙公約として追加関税や移民規制の強化、減税などを掲げています。

石破新政権は、成長分野への投資促進、構造的賃上げに向けた環境整備、地方創生の推進など生産性向上につながる政策を重視する方針を示しており、日本経済の好循環実現を後押しする政策運営を期待されています。

また、2024 年のスポーツ界では、日本人選手の活躍が世界中で注目を集めました。大谷翔平選手は、2024 年シーズンにロサンゼルス・ドジャースへ移籍し、打者専念ながらも驚異的な成績を収めました。

MLB 史上初の「50 本塁打・50 盗塁」を達成し、54 本塁打、130 打点で本塁打王と打点王の二冠を獲得。さらに、2 年連続で満票 MVP を受賞し、ドジャースのワールドシリーズ制覇にも大きく貢献しました。

情報サービス産業では、生成 AI の実用化やクラウド移行の加速、サイバーセキュリティ需要の高まりなどを背景に、堅調な成長を遂げました。2024 年の国内 IT 支出は前年比 7.2%増の 23 兆 4,589 億円となり、特に情報サービス分野では前年比 11.0%増と高い成長を記録しました。

アプリケーション開発/デプロイメント市場では、生成 AI の導入が進み、AI プラットフォーム市場は前年比 68.3%増と急成長しました。既存システムのクラウド移行やインフラ/アプリケーションのモダナイゼーションが進行し、IT コンサルティングやシステムインテグレーションなどのプロジェクトベース市場が高い成長を示しました。

セキュリティソフトウェア市場は、前年比 11.2%増となり、AI を活用した攻撃検知やセキュリティ運用の高度化が進みました。

官公庁・地方自治体では、大型の既存システム刷新プロジェクトや自治体システム標準化の本格化により、政府・公共分野が最も高い成長率を示しました。また、中堅企業の DX 推進状況は、DX 化の取り組みが増加し、クラウドシフトや AI の活用が本格化しています。

山梨県情報通信業協会は、設立 30 周年を迎え、記念事業や人材育成、ダイバーシティ推進、技術研修、地域連携など多岐にわたる活動を展開しました。

30 周年記念式典や講演会、交流会を開催し、会員企業や関係団体との連携を強化しました。全国地域情報産業団体連合会（ANIA）全国大会を山梨県で開催し、県内外の情報通信業界関係者との交流を深めました。また、会報誌を今年度より発行開始し、協会活動や会員企業の取り組みを県内

外の関係団体へ広く発信しました。

女性活躍プロジェクトを「ダイバーシティプロジェクト」へと拡充し、女性社員の視点から働き方改革を推進しました。「山梨えるみん」認定制度の取得を奨励し、異業種団体との意見交換会や山梨県との連携を通じて、女性活躍推進に取り組みました。

ICT 人材育成と教育支援では、インターンシップや業界紹介セミナー、企業ガイダンスを県内の大学や専門学校で実施し、ICT 業界への理解促進と人材確保を図りました。

「Yamanashi AI ハッカソン 2024」を開催し、生成 AI を活用したアプリ開発を通じて、AI 人材の育成を支援しました。

セキュリティ強化と技術研修では、「サイバーセキュリティ競技会（CTF）」と連携し、学生や若手技術者のセキュリティ意識と技術力の向上を図りました。また、「AI・データ活用スペシャリスト養成講座」を実施し、会員企業の技術者のスキル向上を支援しました。

地域連携と産業交流活動では、浜松市のものづくり企業を視察し、IoT や DX の先進事例を学び、地域産業の活性化に向けた知見を深めました。「山梨テクノ ICT メッセ 2024」では、県内外の企業 82 社が参加する展示会を通じて、最新技術の紹介とビジネスマッチングを促進しました。2024 年度、YSA は設立 30 周年を契機に、地域社会と連携しながら情報通信業界の発展と人材育成に努めました。今後も、DX 推進や多様な人材の活躍支援を通じて、山梨県の情報通信産業のさらなる発展に寄与して参ります。

山梨県は教育機関、企業、行政が連携し、地域全体で DX を推進する体制を構築しました。DX 人材育成とエコシステム形成や、中小企業支援と産業 DX の推進を行っています。また、山梨県地域 DX 推進協議会の活動として、地域の企業経営者や DX 推進者を対象に、セミナーやパネルディスカッションを開催し、DX の重要性や具体的な取り組み事例を情報発信しています。

今後も、地域内での DX 人材の育成と定着、産業のデジタル化、行政サービスの向上を目指し、取り組みを継続しています。

## 2. 事務局・委員会活動報告

以下、全体的な活動及び各委員会の活動について報告いたします。

### 【会員状況】 2025. 4. 1現在

| 区分   | 期首会員数 | 新規加入数 | 退会数 | 期末会員数 |
|------|-------|-------|-----|-------|
| 正会員  | 60    | 2     | 0   | 62    |
| 賛助会員 | 6     | 0     | 0   | 6     |
| 特別会員 | 1     | 0     | 0   | 1     |
| 合計   | 67    | 2     | 0   | 69    |

### 【新規加入】

会員名 旭陽電気 株式会社  
代表者 代表取締役社長 金山光雄  
住所 山梨県韮崎市神山町鍋山 300

会員名 株式会社 甲斐電設  
代表者 代表取締役 依田昌樹  
住所 山梨県甲斐市名取 684-3

### 【通常総会】

総会は6月13日に開催いたしました。

今回は、当協会設立30周年の節目の年を迎え、通常総会、講演会に加え30周年記念交流会が執り行われました。また、通常総会において提出の議案が全て可決されましたことも併せてご報告申し上げます。通常総会の終わりに、今回をもって当協会理事を退任される鈴木様、新たな理事に就任された高山様、監事に就任された油川様2名のご挨拶をいただきました。



2024年度～2025年度(一社)山梨県情報通信業協会役員

理事

|    | 役 職 | 氏 名    | 会 社 名・役 職                | 備 考      |
|----|-----|--------|--------------------------|----------|
| 1  | 会長  | 長坂 正彦  | (株)ワイ・シー・シー 代表取締役社長      |          |
| 2  | 副会長 | 中込 裕   | (株)システムインナカゴミ 代表取締役社長    |          |
| 3  | 副会長 | 宿沢 一六  | (株)ネオシステム ファウンダー         | 人材委員会委員長 |
| 4  | 理事  | 清水 久   | (株)サンテレコム 顧問             |          |
| 5  | 理事  | 井上 清美  | (株)ブリリアント 代表取締役社長        | 交流委員会委員長 |
| 6  | 理事  | 中尾 均   | (株)エヌディエス 代表取締役会長        |          |
| 7  | 理事  | 吾妻 幸彦  | (株)コンピュータマインド 取締役相談役     |          |
| 8  | 理事  | 清水 宏   | (株)エスエスワイ 代表取締役社長        |          |
| 9  | 理事  | 丸茂 正樹  | (株)マルモ 代表取締役社長           |          |
| 10 | 理事  | 浅川 順   | (株)Y S K e-com 顧問        | 事業委員会委員長 |
| 11 | 理事  | 奈良田 伸司 | (株)山梨ニューメディアセンター 代表取締役社長 |          |
| 12 | 理事  | 高山 尚文  | (株)シンク情報システム 代表取締役       | 研修委員会委員長 |

監事

|   | 役 職 | 氏 名   | 会 社 名・役 職               |  |
|---|-----|-------|-------------------------|--|
| 1 | 監事  | 渡邊 良樹 | 山梨パナソニックシステム(株) 代表取締役社長 |  |
| 2 | 監事  | 油川 竜也 | (株)エービーエス 代表取締役社長       |  |

**【理事会】**

理事会は7回開催し審議いたしました。

|       |           |       |       |
|-------|-----------|-------|-------|
| 5月15日 | 談露館       | 10月9日 | 県立図書館 |
| 6月13日 | ベルクラシック甲府 | 1月29日 | 談露館   |
| 7月26日 | 談露館       | 3月27日 | 談露館   |
| 9月4日  | 談露館       |       |       |

**【通常総会記念講演会】**

講演者 山梨大学ワイン科学研究センター生命環境学部地域食物科学科 教授 柳田 藤寿先生

講演テーマ：「最新の日本ワイン事情と発酵食品開発」

日本のワイン市場と品種について、代表的な品種は「マスカット・ベリーA」と「甲州」があり、また日本のワイナリー数やワイン市場の推移についてお話がありました。

甲州ワインの歴史は、奈良時代から続く甲州ブドウの歴史であり、近年では国際品種認定、品質向上、世界進出を目指す取り組みが続いています。

日本のワイン生産量・消費量は世界では小規模だが、国内での関心は高まっている。

オレンジワインについて、白ブドウを赤ワインの製法で醸造するワインであり、山梨県でも甲州ブドウを使ったオレンジワインの生産が盛んです。甲府開府500年記念プロジェクトでは、地元の自然から採取した酵母を使い、オール甲府ブランドのスパークリングワインを開発しました。



### 【通常総会 30 周年記念交流会】

講演会終了後、YSA 設立 30 周年を記念して来賓の方々をお招きし開催いたしました。

交流会では講演者の柳田先生が監修された甲州ワイン・スパークリングワインも用意され、柳田先生や来賓者を交えて会員企業との近況報告や情報交換など短時間でしたが盛況に終えることができました。



## 交流委員会

今年度は、当協会設立 30 周年を迎える節目の年となり、ANIA（全国地域情報産業団体連合会）の全国大会を初めて山梨県で開催し、多数の会員企業の皆様や全国から関係団体様をお招きし盛大に行いました。また、例年の定例行事である 6 月総会後の講演会・交流会、7 月夏季講演会・納涼会、1 月新春講演会・賀詞交歓会を無事開催することが出来ました。

### 【夏季講演会・納涼会】

【日 時】 令和 6 年 7 月 26 日（金） 16 時～17 時

【場 所】 シャトレーゼホテル談露館 2 階 山脈

【夏季講演会】

演 題：「アジア諸国の経済動向と高度外国人材について」

講 師：日本貿易振興機構（ジェトロ）山梨貿易情報センター

所長 濱田 哲一（はまだ あきかず） 様

東南アジア・インド諸国の成長市場とそこにいる優秀なデジタル人材の最新動向を踏まえ、日本企業のビジネスチャンスと課題について講演頂きました。また、ジェトロでは高度外国人材事業としてアジア各国から日本企業への高度人材紹介支援や外国人材の獲得と活用に関する施策・サポートについて紹介がありました。



### 【夏季納涼会】

納涼会では、協会設立 30 周年の記念も兼ね、井上交流委員長の乾杯により納涼会を開催しました。おかげさまで 50 名の方々にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。



## 【Y S Aコンペ】

春・夏の年 2 回開催しました。

### 1. 第 1 回 Y S A ゴルフコンペ

【日 程】 2024 年 7 月 13 日（土）

【場 所】 富士レイクサイドカントリー倶楽部

【参加者】 18 名

【内 容】

梅雨も明けた曇り空のもと富士山の麓にて総勢 18 名が参加しました。

ご参加いただいた皆さま、ご苦労様でした！



### 2. 第 2 回 Y S A ゴルフコンペ

【日 程】 2024 年 11 月 9 日（土）

【天気】 快晴 35 度

【場 所】 境川カントリー倶楽部

【参加者】 16 名

【内 容】

晩秋からの暑さも収まり立冬を迎え、まわりの木々も色づき始め最高の天気にも恵まれたなか総勢 16 名が参加しました。ご参加いただいた皆さま、ご苦労様でした！



## 新春講演会・賀詞交歓会】

1 月 29 日（水）、シャトレゼホテル談露館にて、令和 7 年新春講演会・賀詞交歓会が開催されました。今年はシャトレゼホテル談露館にて、多数のご来賓、会員に方々にご参加いただき開催しました。

新春講演会では、「いま、山梨大学は 一地域の中核世界の人材」と題して、国立大学法人山梨大学学長中村和彦様より、ご講演をいただきました。



賀詞交歓会では、冒頭に長坂会長が挨拶され、昨年山梨で初めて開催した「第45回 ANIA 山梨大会」が全国から多くの皆さまをお招きし成功裏に終わった。大会準備から当日の運営まで携わって頂いた多くの関係者に感謝申し上げたいとの御礼の挨拶がありました。また、年頭にあたり当協会の今年の漢字を「魅」とした。「新たな市場創出を行い、各分野で社会発展に取り組むとともに、産学官連携強化と人材育成で IT 業界の魅力ある活動を推進して欲しい」と力強く発信されました。



#### ■交流委員会

|      | 会社名              | 委員名    |
|------|------------------|--------|
| 委員長  | (株)ブリリアント        | 井上 清美  |
| 副委員長 | (株)山梨ニューメディアセンター | 奈良田 伸司 |
|      | (株)エービーエス        | 油川 竜也  |
|      | (株)エムアイエー        | 今福 豪晃  |
|      | (株)オネスト          | 宮城 隆男  |
|      | (株)カルク           | 田中 雅貴  |
|      | テクト(株)           | 宮下 崇   |
|      | (株)富士情報          | 渡辺 直企  |
|      | (株)マネージ・ソフト      | 池田 佳寿光 |
|      | (株)マルモ           | 丸茂 正樹  |
|      | (株)山梨ニューメディアセンター | 望月 裕   |
|      | (株)ワイ・シー・シー      | 大柴 昭彦  |

### 【ダイバーシティプロジェクト】

活動組織が「ダイバーシティプロジェクト」となって2年目になりました。

#### ◇座談会

ダイバーシティプロジェクトでの初めての試みである座談会は、メンバーたったの希望でYSA会員企業でもありますエクシオグループ株式会社 坂井甲信支店長をお招きし開催いたしました。



#### ◇他団体（異業種）と交流・情報収集

山梨県多様性社会・人材活躍推進局の方々にご縁をつないでいただき、今年度は株式会社ササキ様とエンドレスハウザー山梨株式会社様と交流会を開催することができました。



## ◇印象管理セミナー

令和 7 年 2 月 17 日（月）に山梨県立図書館で印象管理セミナーを開催しました。講師には株式会社コンシャスインターナショナル 代表取締役 岩井結美子先生をお招きしました。



## ■ダイバーシティプロジェクト

|        | 会社名            | 委員名     |
|--------|----------------|---------|
| リーダー   | (株)ワイ・シー・シー    | 諸星 直美   |
| サブリーダー | (株)ネオシステム      | 三森 まどか  |
|        | (株)Y S Ke-com  | 中澤 治子   |
|        | (株)システムインナカゴミ  | 三浦 ゆう   |
|        | (株)コンピュータマインド  | 大久保 ひろ子 |
|        | リコージャパン(株)山梨支社 | 藤巻 幸子   |
|        | (株)エヌディエス      | 宮下 亜由美  |
| オブザーバー | (株)Y S Ke-com  | 小林 由美子  |

## 【外部団体との交流促進】

### 1. J I S A（情報サービス産業協会）

◇通常総会（長坂会長が、副会長に就任されています） 6 月 12 日（水）に開催されました。総会後の情報交換会も開催されました。

### 2. A N I A（全国地域情報産業団体連合会）

◇通常総会は、7 月 4 日（木）にハイブリッドで開催されました。

◇理事会は、4 月 19 日、7 月 4 日、10 月 17 日、2 月 12 日にオンライン・対面で開催されました。

（井上理事は A N I A の理事として参加、事務局はオブザーバで参加）。

◇事務局会議は、5 月 22 日、7 月 23 日、10 月 17 日、2 月 13 日にオンライン・対面で開催されました。

### ◇「第 45 回全情連大会 ANIA 山梨大会」の開催

10 月 17 日（木）・18 日（金）、ANIA 山梨大会が開催されました。

#### ◆式典・記念講演会

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会（ANIA）との共催により、第 45 回全情連大会「ANIA 山梨大会」を多数のご来賓、会員の方々にご参加いただき盛大に開催しました。山梨県で全情連大会が開催されるのは初めてであり、当協会（YSA）設立 30 周年の記念すべき年に全情連の大会を併せて開催することができました。17 日は、ベルクラシック甲府にて式典・記念講演会・懇親会を開催し、翌 18 日は、エク



スカーションとして観光とゴルフを行いました。地方都市の魅力に触れながら「デジタルを活用した一人ひとりが輝く社会創り」への大変有意義な交流の場となった大会になりました。大会の成功に向けご支援いただきましたすべての皆様に深く感謝申し上げます。

記念講演では、基調講演と特別講演を行い、基調講演では「カーボンニュートラル社会の実現に向けた「やまなしモデル」P2G 事業への取り組み」と題して、山梨県企業局新エネルギーシステム推進課課長 宮崎和也様より、ご講演をいただきました。



特別講演では、「戦国大名と情報戦略」と題して、歴史学者 平山優様より、ご講演をいただきました。



#### ◆懇親会

懇親会では、日本航空高等学校山梨キャンパス太鼓隊の皆さんによる歓迎太鼓の演奏にて懇親会が始まりました。来賓を代表しまして甲府市長 樋口様よりご挨拶をいただき、山梨県 DX・情報政策推進統括官 瀧本様のご発声にて甲州ワインにて乾杯し開宴しました。「ザ・ビートレス」のオンラインステージや山梨県産品抽選会といったアトラクション、次回開催県の宮崎県への引継ぎ式が行われ、宮崎県情報産業協会会長 川崎様から宮崎県の紹介を兼ねご挨拶をいただきました。大きな盛り上がりの中で和やかに親睦を深めていただき、最後は中込 YSA 副会長の閉会の言葉で幕を閉じました。



◇新春交歓会は、令和7年2月12日（水）一般社団法人日本IT団体連盟と合同で開催しました。

### 3. メトロ（広域首都圏情報団体協議会）

◇事務局会議は7月5日、11月15日対面で開催されました。

◇メトロエリアグリーン会は、埼玉県（幹事県）にて10月4日に開催されました。

【日 程】 2024年10月4日（土） 【天気】 雨時々曇り 【最高気温】 30.2度  
【場 所】 太平洋クラブ江南コース 【参加者】 6団体 50名

今年のメトロエリア・グリーン会は、太平洋クラブチャレンジトーナメントで知られる太平洋クラブ江南コースで開催されました。

当日は、小雨まじりのあいにくの天候ではありましたが、手入れの行き届いたコースコンディションで大変気持ちよくラウンドすることが出来ました。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。



◇幹部会議会は、令和 7 年 3 月 7 日（金）に埼玉県にて開催され、各団体より活動報告がなされ今後の活動について情報共有を行いました。長坂会長・井上理事・事務局が参加しました。

【日 程】 2025 年 3 月 7 日（金）

【場 所】 パレスホテル大宮

【参加者】 6 団体 23 名



## 人材委員会

今年度は採用企業側のスキル習得を目的とした採用担当者セミナーを講演と意見交換会の2部形式で開催しました。また、インターンシップ、業界紹介セミナー、企業ガイダンス等を通じて一定の成果を上げることができたと思います。但し、大学向け業界紹介セミナーは参加人数が集まらず、やむなく中止しました。さらに実施方法を検討しより多くの学生が参加できる方法を検討します。

### 1. ICT人材育成支援事業 - インターンシップ

【日 程】 2024年7月～2024年9月

【事業概要】

対面・オンラインで実施し、参加企業は17社、参加学生は35名（前年度69名）と学生の意識は、キャリア形成・就職活動のための情報収集の場として積極的に各企業の担当者と真剣に会話していました。

【受入れ会員企業】

|   |                     |    |                  |
|---|---------------------|----|------------------|
| 1 | (株)アイ・エス・ビー         | 10 | (株)システムインナカゴミ    |
| 2 | (株)アイティードゥ          | 11 | (株)シップス          |
| 3 | (株)ウインテックコミュニケーションズ | 12 | (株)ネオシステム        |
| 4 | (株)エービーエス           | 13 | (株)ブリリアント        |
| 5 | (株)エスエスワイ           | 14 | (株)山梨ニューメディアセンター |
| 6 | NSW(株)              | 15 | (株)ユニテクノロジー      |
| 7 | (株)カルク              | 16 | (株)YSKe-com      |
| 8 | グロースエクスパートナーズ(株)    | 17 | (株)ワイ・シー・シー      |
| 9 | (株)ジインズ             |    |                  |

【学校別参加学生数】

|   |               |     |
|---|---------------|-----|
| 1 | サンテクノカレッジ     | 13名 |
| 2 | 山梨県立産業技術短期大学校 | 12名 |
| 3 | 甲府商科専門学校      | 10名 |

### 2. ICT人材育成支援事業 - 採用担当者セミナー

【日 程】 2024年11月5日（火）

【会 場】 山梨県立図書館 2階多目的ホール

【時 間】 13時30分～16時

【事業概要】

第一部：「戦略的採用力強化セミナー」

講演：～人材獲得と定着の戦略とは～

講師：山梨県大学就職指導研究会 事務局長 キャリアコンサルタント

山梨英和大学 宮川 仁 様

第二部：YSA 会員企業採用担当者様と加盟大学キャリアセンター職員様との意見交換会

※参加大学様：健康科学大学、都留文科大学、帝京科学大学、山梨英和大学、山梨学院学短期大学、山梨県立大学、山梨大学 7校 10名



### 3. ICT人材育成支援事業 - 業界紹介セミナー

【日 程】 2024 年 11 月～2025 年 1 月

【事業概要】

県内 4 校に対して説明を実施しました。参加人数が少ない学校（山梨大学、山梨県立大学、山梨英和大学、都留文科大学）についてはオンラインにて開催を計画しましたが、参加人数が満たないため止む無く中止となりました。昨年同様、甲府商科専門校、山梨産業技術短大、サンテクノカレッジは授業の一環として進めていただいていた就職活動に学校として支援している姿勢を感じました。説明に参加いただいた企業の皆さんは、就職 1～3 年程度の若い方が多く、就職後の苦労話や個々の企業の特徴などを盛り込んでしっかり IT 産業をアピールいただくと同時に、人前で説明する経験を積んでいただけたと思います継続して実施して参ります。

業界紹介セミナー実施結果一覧

| 実施した学校名                            | 日時        | 参加学生数 | 説明企業                           |    |
|------------------------------------|-----------|-------|--------------------------------|----|
| 山梨産業技術短大                           | 11/28(木)  | 11 名  | ブリリアント、旭陽電気、ジインズ               | 対面 |
| 山梨大学<br>山梨県立大学<br>山梨英和大学<br>都留文科大学 | 12/18 (水) |       | 参加者集まらず中止                      |    |
| サンテクノカレッジ                          | 1/15 (水)  | 34 名  | ユニ・テクノロジーズ、ネオシステム、旭陽電気         | 対面 |
| 甲府商科専門学校                           | 1/15 (水)  | 25 名  | ジインズ、カルク、エスエスワイ                | 対面 |
| 山梨学院大学                             | 1/16 (木)  | 23 名  | システムインナカゴミ、ユニ・テクノロジーズ、シ<br>ップス | 対面 |

■参加学生総数：93名

#### 4. ICT人材育成支援事業 - 企業ガイダンス

【日 程】 2025 年 2 月 14 日（金）

【会 場】 ベルクラシック甲府 3 階エリザベート

【時 間】 13 時～16 時

##### 【事業概要】

当日、多数の学生の皆さんに来場いただきました。

各企業ブースにて担当者からの説明を真剣に聞いていました。

参加した学生数は 38 名（前年比約 43%）、学科学生数が昨年度より減少傾向にあります。

参加企業は 22 社（前年は 24 社）であり一定の成果を出すことができましたと考えます。今年も大学生の参加数が少なく来期に向けて大学側と情報共有し活動を行います。



学校別来場者 38 名

|               |      |
|---------------|------|
| 甲府市立甲府商科専門学校  | 24 名 |
| 山梨県立産業技術短期大学校 | 11 名 |
| 専門学校サンテクノカレッジ | 2 名  |
| 山梨学院大学        | 1 名  |

出展企業 22 社

|                     |                  |                  |
|---------------------|------------------|------------------|
| (株)アイティードウ          | (株)ジインズ          | (株)山梨中央銀行        |
| (株)ウインテックコミュニケーションズ | (株)システムインナカゴミ    | (株)山梨ニューメディアセンター |
| (株)エービーエス           | (株)シップス          | 山梨パナソニックシステム(株)  |
| (株)エスエスワイ           | (株)日本システムコンサルタント | (株)ユニ・テクノロジー     |
| (株)カルク              | (株)日本ネットワークサービス  | (株)YSKe-com      |
| (株)甲府情報システム         | (株)ネオシステム        | (株)ワイ・シー・シー      |
| 旭陽電気(株)             | (株)ブリリアント        |                  |
| (株)シー・シー・ダブル        | (株)マルモ           |                  |

■人材委員会

|      | 会社名                 | 委員名   |
|------|---------------------|-------|
| 委員長  | (株)ネオシステム           | 宿沢 一六 |
| 副委員長 | (株)コンピュータマインド       | 吾妻 幸彦 |
|      | (株)アイ・エス・ビー         | 福田 二八 |
|      | (株)エーティーエルシステムズ     | 森井 義則 |
|      | グローバルデザイン(株)        | 保坂 晃代 |
|      | サニーソフト(株)富士DX開発センター | 小泉 利明 |
|      | (株)システムインナカゴミ       | 石井 和彦 |
|      | (株)シップス             | 長田 達彦 |
|      | (株)ネオシステム           | 佐藤 英雄 |
|      | (株)ブリリアント           | 井上 翔太 |
|      | (株)ユニ・テクノロジー        | 天野 武彦 |
|      | リコージャパン(株)山梨支社      | 田中 弘輝 |
|      | (株)Y S Ke-com       | 依田 安史 |

## 研修委員会

2024年度は、新入社員研修をはじめ会員の技術スキルアップを目的に、若手社員向けに先進技術視察見学会を開催しました。山梨県委託事業として会員向けにAI・データ活用スペシャリスト育成講座を5回に渡り開催しました。また、山梨県在住でAIに興味を持つ、学生・社会人・YSA参加企業が一同に集い、AIの基礎を学びハッカソンで技術を競いました。県警本部と連携しサイバーセキュリティ対策に向けた競技会へ多数の企業が参加しました。

### 1. 新入社員研修会

【日 程】 2024年4月15(月)～16日(火)

【会 場】 アイメッセ山梨 4階 大会議室

【時 間】 9時30分～17時

#### 【事業概要】

山梨県能力開発センターより講師を招いて、新入社員研修向けに、マナー研修(電話応対、名刺交換など)を実施いたしました。研修には5社から31名の新入社員に参加いただきました。

|             |         |           |               |
|-------------|---------|-----------|---------------|
| (株)カナマル     | (株)シップス | (株)ブリリアント | (株)Y S Ke-com |
| (株)ワイ・シー・シー |         |           |               |

参加者からの主だったアンケート結果を以下に記載します。

- ① ビジネスマナーの基礎を学ぶことができました。グループワークは、今後仕事を行っていく上で必ず活かせると思うし、聞く力・態度と話す力・態度を改めて見直すこともできた。
- ② 同じ職種につく同世代の方とつながりができたことも大きな収穫だった。
- ③ 電話応対で、他の会社名や社員名をメモしたり、用件をアドリブで変更する等して、実際の応対に近い練習ができた。会社に戻ってからも、今回学んだことを活かしながら業務に取り組みたい。
- ④ 他企業の人と交流が出来てとても良かった。
- ⑤ コミュニケーションやチームワークの重要性など、得るものがとても大きかった。他社の同期とのグループワークが多く、とても充実した2日間だった。

### 2. システム開発演習講座支援

【日 程】 2024年10月～2月

【会 場】 山梨大学工学部

#### 【事業概要】

山梨大学コンピュータ理工学科が実施するソフトウェア設計開発演習Ⅱの授業をYSA会員の技術者が支援を行いました。授業にてソフトウェア設計～運用までの構築作業を行い最終結果プレゼンを開催し評価を行いました。

- (1) 9月から関係者とメールで進め方の概要や日程を打ち合わせた。
- (2) 会員(4社)からそれぞれ開発テーマを提示し、チーム分けした(講師4名が3チームを指導)学生がそれぞれにテーマについて提案書作成を始めた。
- (3) 開発言語は、Python、Django(ジャンゴ)フレームワークを使用。

- (4) 1月26日～学生から会員に対して提案書のプレゼン（対面）をおこなった。会員から成果物に対して評価・アドバイスを行い、今後の検討課題を提示した。

担当教員 山梨大学 コンピュータ理工学科 鈴木教授、郷教授

支援いただいた会員

- ◇ウインテックコミュニケーションズ
- ◇YSKe-com
- ◇シンク情報システム
- ◇ワイ・シー・シー

### 3. AI・データ利活用スペシャリスト養成講座（山梨県委託事業）

【日 程】 2024年10月～12月

【会 場】 山梨大学

【参加者】 28名

【事業概要】

本事業は山梨県からの委託事業として、会員企業のIT技術者を対象に山梨大学と連携してAIやデータ利活用などDX推進のためのスペシャリスト養成講座を開催しました。県内自治体・企業等でのDX人材の増員や技術者相互のスキル向上を促進を行いました。併せて、DXの取組みに関する相談体制の整備や支援など県内で自走可能な環境の構築を目指しました。

#### ◇開講概要（7回開催）

本講座は、山梨県の委託を受け、YSA参加の各企業がAI・データ活用等の相談に応えられるよう技術育成を計ることを目的とした、事例や演習を取り入れた実践的なセミナーを開催しました。

これからAI・データ活用を学ぶ方や、昨年受講した方のさらなるスキルアップとして活用しました。

| 講習会開催日程   | 講習内容                          | 時 間         | 担当教員  |
|-----------|-------------------------------|-------------|-------|
| 10月2日（水）  | Python スキルアップ講座①<br>～データ操作編～  | 15:00～17:00 | 西崎    |
| 10月9日（水）  | Python スキルアップ講座①<br>～API 活用編～ | 15:00～17:00 | 西崎    |
| 10月16日（水） | データサイエンスセミナー①<br>～アンケート分析編～   | 15:00～17:30 | 牧野    |
| 10月23日（水） | データサイエンスセミナー②<br>～主成分分析編～     | 15:00～17:30 | 牧野    |
| 10月30日（水） | 生成AIで変わる業務環境                  | 15:00～17:00 | 坂田、岡村 |
| 11月6日（水）  | 生成AI入門セミナー①<br>～文章生成AI編～      | 15:00～17:30 | 西崎    |
| 11月13日（水） | 生成AI入門セミナー②<br>～画像生成AI編～      | 15:00～17:30 | 西崎    |



#### 4. Yamanashi AI ハッカソン 2024（山梨県委託事業）

【日 程】 2024 年 11 月～12 月

【会 場】 山梨大学

【参加者】 40 名

##### 【事業概要】

山梨県ではデジタルトランスフォーメーション推進計画を策定し地域社会全体のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進していますが、県内企業・団体の多くは AI などの専門的なスキルに特化したスペシャリストについて自組織内で育成・確保することは難しい現状にあります。

本業務は AI やデータ利活用など DX 推進のための人材育成・養成の観点から、AI を学んだ学生や社会人、これら分野へスキル転換を考えている人などを対象に AI をテーマとするハッカソンを開催し、学生や社会人の AI や ICT への更なる興味増進や上位学府での学びの機会、AI 人材を目指す契機、情報通信企業で働く契機の創出を目指すことを目的として実施しました。

##### ◇開講概要（4 回開催）

生成系 AI を活用したアプリ開発をテーマとした AI ハッカソンを下記のとおり開催しました。

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| イベント名称 | Yamanashi AI ハッカソン 2024             |
| 参加の条件  | ① 山梨県内在住の学生及び社会人<br>② プログラミング経験のある方 |
| 募集人数   | 40 名                                |
| 会場     | 山梨大学 甲府キャンパス                        |

|               |                                                                                  |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 部 ワークショップ |                                                                                  |
| 開催日時          | 2024 年 11 月 24 日（日）、12 月 1 日（日）、12 月 8 日（日）<br>午前 10 時～午後 5 時（11 月 24 日は午前 9 時～） |
| 内容            | 生成 AI の基本概念とその実装方法の学習、AI アプリの開発を体験。<br>チームに分かれてオリジナルのアプリを企画・作成。                  |

|             |                                    |
|-------------|------------------------------------|
| 第 2 部 コンテスト |                                    |
| 開催日時        | 2024 年 12 月 22 日（日） 午前 10 時～午後 5 時 |
| 内容          | 作成したアプリをチームごとにプレゼンテーションし、成果を競う。    |

##### 第 1 部 ワークショップ

|      |                                                                                                                   |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時 | 1 日目 2024 年 11 月 24 日（日） 9：00～17：00<br>2 日目 2024 年 12 月 1 日（日） 10：00～17：00<br>3 日目 2024 年 12 月 8 日（日） 10：00～17：00 |
| 会場   | 山梨大学 甲府キャンパス A-2 号館 A-11 教室 及び 工業会館 3 階会議室                                                                        |

|          |                                                                                                                                                                                                                     |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要       | 1 日目<br>生成 AI の基本概念とその実装方法を学び、AI アプリの開発を体験した。<br>● 生成 AI ハンズオン（テキスト生成、音声認識、OCR、音声合成、画像生成、画像認識）<br>● 生成 AI とその他 AI を組み合わせて活用するハンズオン<br>※1 日目の講義の映像は教材として後日 YouTube で配信した。<br>2 日目～3 日目<br>チームに分かれてオリジナルのアプリを企画・作成した。 |
| アプリ開発テーマ | 「山梨の活性化」<br>生成 AI を使って、山梨の魅力を発信したり、山梨の問題解決をしたりすることで、山梨をさらに活性化させるアプリケーションを作成する。                                                                                                                                      |
| 参加者数     | 1 日目 23 名（離脱 3 名、欠席 1 名）<br>2 日目 20 名（離脱 6 名、欠席 1 名）<br>3 日目 18 名（離脱 6 名、欠席 3 名）                                                                                                                                    |

## 第 2 部 コンテスト

|      |                                                                                                                        |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時 | 2024 年 12 月 22 日（日）10：00～17：00                                                                                         |
| 会場   | 山梨大学 甲府キャンパス 大村智記念学術館                                                                                                  |
| 概要   | 作成したアプリをチームごとにプレゼンテーションした。<br>企画の趣旨や有用性、アプリの難易度や出来栄え、創意工夫など様々な観点から、4 名の審査員が総合的に評価して各賞を決定、表彰状を授与した。<br>閉会後に簡単な懇親会を開催した。 |
| 参加者数 | 18 名（離脱 7 名、欠席 2 名）<br>※欠席者 2 名はやむを得ない家庭事情のため表彰の対象者（参加扱い）とした。                                                          |



## 5. 山梨県サイバーセキュリティ促進ネットワーク会議

山梨県警察本部生活安全課が主催する、サイバーセキュリティに関する情報共有会議が令和 6 年 5 月 27 日（月）警察本部で開催されました。サイバーセキュリティに関する事例の紹介などを通じて啓蒙活動行っています。当協会の鈴木理事がアドバイザーに就任しています。

## 6. サイバーセキュリティ競技会開催

【日 程】 2024 年 10 月 26（土）

【会 場】 山梨文化会館山日 YBS ホール

【参加者】 30 名

【事業概要】

10 月 26 日（土）、山梨県インターネットプロバイダ連絡協議会、山梨県警察本部が行う「サイバーセキュリティ CTF コンテスト 2024」の後援を YSA が行いました。午前中はサイバーセキュリティに関

する講演が行われ、60 人余りが聴講しました。午後からサイバーセキュリティ競技会が開催されました。会場は山梨文化会館 山日 YBS ホールで行われ、YSA 参加企業 11 チーム（22 名）と大学生・高校生 4 チーム（8 名）が参加しました。YSA からは参加賞と副賞を提供しました。

YSA のサイバーセキュリティ活動に対して山梨県警察部より感謝状を授与されました。



## 8. ハンズオンセミナー開催

### 【開催日時】

①＜基礎編＞ 令和 6 年 1 1 月 1 日（金）10：00～16：00

②＜実践編＞ 令和 6 年 1 1 月 1 8 日（月）10：00～16：00

【会 場】山梨県立中小企業人材開発センター 2F 実習室

【講 師】NPO 法人 IT コーディネータ山梨 岩田 薫 氏

【参加者】各回 20 名

### 【事業概要】

本研修は、2018 年よりハンズオン研修として、実際に皆様が利用できるよう、実習形式でのデータ分析の研修を行ってまいりました。昨年は 20 名の定員に 30 名の方が応募され、会場を変更し、皆様に参加いただきました。企業の DX 化が進んでおり、Power BI に対する関心も増しております。

Power BI は、ビジネスシーンのさまざまなデータを手軽に可視化できる、Microsoft 社のツールです。

本セミナーでは、無料で利用できる「Power BI Desktop」の使い方を、自身のパソコンを使って演習を通して学びます。

①＜基礎編＞ Power BI Desktop の基本操作をマスターする

②＜実践編＞ データモデルの作り方、データ加工とレポート作成方法を学ぶ

本年度のインボイス制度開始、来年から始まる電子帳簿保存法など、企業への DX 化の波が押し寄せてきました。昨今、生成 AI として「ChatGPT」が出現、DX 革命が AI 革命へと移行し始めています。

Power BI は、ビジネスシーンのさまざまなデータを手軽に可視化できる、Microsoft 社のツールです。本セミナーでは、無料で利用できる「Power BI Desktop」の使い方を、自身のパソコンを使って演習を通して学びました。



| ■ 研修委員会 |                     |       |
|---------|---------------------|-------|
|         | 会社名                 | 委員名   |
| 委員長     | (株)シンク情報システム        | 高山 尚文 |
| 副委員長    | (株)ウインテックコミュニケーションズ | 清田 幸彦 |
|         | NPO法人ITコーディネータ山梨    | 岩田 薫  |
|         | (株)ウインテックコミュニケーションズ | 田丸 淳一 |
|         | (株)コム               | 高山 和弘 |
|         | (株)システムインナカゴミ       | 丸山 智子 |
|         | (株)YSKe-com         | 沼 光博  |
|         | (株)ワイ・シー・シー         | 小林 茂幸 |
|         | (株)ワイ・シー・シー         | 村松 静華 |

## 事業委員会

事業委員会では、NPO 法人山梨情報通信研究所と共催で、「先進地視察研修」の現地開催を行いました。また、アカデミックサロンの開催や山梨テクノ ICT メッセへの展示等を実施しました。

### 1. アカデミックサロン

【日 程】 2024 年 6 月～2024 年 12 月 2 回開催

【会 場】 山梨大学

【事業概要】

山梨大学地域連携室、NPO 法人山梨県情報通信研究所の共催により山梨大学工学部の各研究室で保有または研究を進めている最新技術をテーマに知見を広めまた、参加者の交流の時間を設けてビジネス連携の情報交換等を行いました。

#### ■第 1 回開催

【開催日時】 2024 年 6 月 19 日（水）

話題：「電子部品の感性評価と音のアレイ信号処理を巡って」

講師：大学院総合研究部・工学域・電気電子情報工学系 教授 小澤 賢司 先生

#### ■第 2 回開催

【開催日時】 2024 年 9 月 18 日（水）

話題：「データ駆動型の機械設計」

講師：大学院総合研究部・工学域 機械工学系（機械工学）教授 岡澤 重信 先生

### 2. 先進地視察

【日 程】 2025 年 2 月 20 日（木）～21 日（金）2 日間

【視察先】 静岡県浜松市企業

【参加者】 17 名（9 社・団体）

【事業概要】

今回は日本有数のものづくり企業集積地である静岡県浜松市を訪問して参りました。

浜松市は、日本有数の“ものづくりの街”として知られ、機械工業・輸送機器・精密加工など多様な産業が集積しています。近年では、IoT（モノのインターネット）を駆使した高度な機械旋盤技術が盛んであり、製造現場のスマート化や生産性向上が進められています。

こうした技術革新は、中小企業から大手企業まで幅広い層で導入されており、次世代の人材育成や地域の競争力強化にも貢献しています。今回は機械旋盤技術の DX 化を推進している 2 社を視察しました。また、「世界のスズキ自動車」歴史館にて、創業者・鈴木道雄が 1909 年に織機製作所を設立して以来の「ものづくり」の歩みと、現在のクルマづくりの様子を視察して参りました。

#### ■見学施設 浜松市

1. 株式会社ジーアクト様
2. 株式会社小沢精密工業様
3. スズキ自動車歴史館
4. 豊田佐吉記念館





### 3. 山梨テクノICTメッセ 2024

【日 程】 2024 年 9 月 13 日（金）～14 日（土）2 日間

【会 場】 アイメッセ山梨

【参加企業】 70 社

【来場者数】 4,664 名

#### 【事業概要】

『やまなしの熟練技術と ICT の最先端ここから世界へ！！』をテーマに

新たな出会いを通じて、長年培ってきた高度熟練技術、新技術・新製品等を積極的に P R しながら国内はもとより、世界へ踏み出すきっかけとして展示会が開催されました。

これまで以上に事業の出会いの場を強化し、知名度アップ、ビジネスチャンス拡大、価値（勝ち）創造の場となるよう企画されていました。

地域企業の技術力を広く紹介し、ビジネスマッチングや人材育成の場としての活動や、先進技術の展示では、防犯カメラと AI システムによる異常自動検知デモンストレーションや生成 AI の紹介、ウェルネス運動支援サービスや、AR 体験などの先進的な技術が紹介されていました。

こどもプログラミング教室や親子ものづくり体験教室など、次世代の人材育成を目的としたイベントも開催されました。

会員企業の 16 社より各社様の得意分野を出展頂きました。

また、記念講演会も開催されました。

演題：「生成 A I の教育利用の最新状況と課題」

～ A I ネイティブ世代の可能性を引き出す教育とは～

講師：讃井 康智（さぬい やすとも）氏（ライフイズテック株式会社取締役 最高 AI 教育責任者）



■YSA 会員出展企業（16 社）

|   |                      |
|---|----------------------|
| 1 | 株式会社ウインテックコミュニケーションズ |
| 2 | 株式会社エービーエス           |
| 3 | エクシオグループ株式会社 甲信支店    |
| 4 | NSW株式会社              |
| 5 | 株式会社カルク              |
| 6 | 株式会社システムインナカゴミ       |
| 7 | 株式会社シップス             |
| 8 | 株式会社デジタルアライアンス       |

|    |                   |
|----|-------------------|
| 9  | 株式会社ブリリアント        |
| 10 | 株式会社山梨ニューメディアセンター |
| 11 | 株式会社YSKe-com      |
| 12 | 株式会社ワイ・シー・シー      |
| 13 | 日本電気株式会社 甲府支店     |
| 14 | NTT東日本 山梨支店       |
| 15 | 株式会社山梨中央銀行        |
| 16 | 一般社団法人山梨県情報通信業協会  |

■事業委員会

|     | 会社名             | 委員名   |
|-----|-----------------|-------|
| 委員長 | (株)YSKe-com     | 浅川 順  |
|     | エクシオグループ(株)甲信支店 | 坂井 英子 |
|     | (株)エスエスワイ       | 清水 宏  |
|     | NSW(株)山梨ITセンター  | 小林 宏充 |
|     | (株)エヌディエス       | 中尾 均  |
|     | (株)オネスト         | 宮城 隆男 |
|     | (株)甲府情報システム     | 長倉 文仁 |
|     | (株)サンテレコム       | 清水 久  |
|     | (株)シー・シー・ダブル    | 井戸 隆一 |
|     | (株)ジインズ         | 廣瀬 光男 |
|     | (株)ディーエスピー      | 石井 隆  |
|     | 中楯電気(株)         | 今泉 弘明 |
|     | (株)ワイ・シー・シー     | 清水 洋  |

■電気通信部会

|      | 会社名             | 部員名   |
|------|-----------------|-------|
| 部会長  | (株)エヌディエス       | 中尾 均  |
| 副部会長 | (株)西井電設         | 西井 芳信 |
|      | エクシオグループ(株)甲信支店 | 坂井 英子 |
|      | (株)カナマル         | 金丸 哲也 |
|      | (有)峡西シーエーテーブイ   | 中込 久  |
|      | 桑原電業(株)         | 桑原 大輔 |
|      | (株)サンテレコム       | 清水 久  |
|      | テクト(株)          | 宮下 崇  |
|      | 中楯電気(株)         | 今泉 弘明 |
|      | 日昇電気工業(株)       | 杉本 修一 |
|      | 日本電子サービス(株)     | 飯田 幸人 |
|      | (株)ふじでん         | 岩間 一哉 |
|      | 古屋電機(株)         | 古屋 里義 |
|      | 堀内電気(株)         | 堀内 慎也 |
|      | 山梨パナソニックシステム(株) | 渡邊 良樹 |

## 2 0 2 4年度収支報告（案）

自 2 0 2 4年 4月 1日  
至 2 0 2 5年 3月3 1日

## 1. 事業別収支計算書

収入の部

(単位:円)

|        | 科目/事業名    | 2024年度予算   | 2024年度決算   | 差異         | 備考                                  |
|--------|-----------|------------|------------|------------|-------------------------------------|
| 会費収入   | 入会金       | 50,000     | 100,000    | 50,000     |                                     |
|        | 年会費       | 5,860,000  | 5,885,000  | 25,000     | 2025.3.31現在<br>正会員62社、賛助会員6社、特別会員1社 |
|        | 理事特別会費    | 440,000    | 440,000    | 0          |                                     |
|        | 会費収入合計    | 6,350,000  | 6,425,000  | 75,000     |                                     |
| 事業収入   | 新入社員研修    | 310,000    | 310,000    | 0          |                                     |
|        | 高度IT技術者研修 | 0          | 0          | 0          |                                     |
|        | 賀詞交歓会     | 670,000    | 685,000    | 15,000     |                                     |
|        | 情報交換会他    | 720,000    | 821,000    | 101,000    | 納涼会、ゴルフコンペ、セミナー                     |
|        | 展示会・視察研修  | 360,000    | 320,000    | -40,000    | 先進地視察                               |
|        | ICT化促進事業  | 800,000    | 789,664    | -10,336    | 情報通信活用促進事業                          |
|        | 異業種交流事業   | 25,000     | 56,000     | 31,000     | 合同交流会                               |
|        | 事務受託事業    | 1,188,000  | 1,188,000  | 0          | eラーニング                              |
|        | ANIA山梨大会  | 4,580,000  | 3,835,000  | -745,000   |                                     |
|        | その他       | 0          | 310,773    | 310,773    | 負担金                                 |
|        | 事業収入合計    | 8,653,000  | 8,315,437  | -337,563   |                                     |
| 補助金収入  | JISA      | 300,000    | 300,000    | 0          |                                     |
|        | 県(男女共同参画) | 0          | 50,000     | 50,000     | 印象管理セミナー                            |
|        | 補助金収入合計   | 300,000    | 350,000    | 50,000     |                                     |
| 受託事業収入 | 県(AI人材育成) | 6,500,000  | 3,465,000  | -3,035,000 | AI人材育成事業                            |
|        |           |            |            | 0          |                                     |
|        | 受託事業収入合計  | 6,500,000  | 3,465,000  | -3,035,000 |                                     |
| 負担金収入  | 事務負担金     | 400,000    | 400,000    | 0          | 見守りセンター営業支援金                        |
|        | その他       |            |            | 0          |                                     |
|        | 負担金収入合計   | 400,000    | 400,000    | 0          |                                     |
| 雑収入    | 受取利息      | 0          | 3,330      | 3,330      |                                     |
|        | その他       | 0          | 12         | 12         | 還付金                                 |
|        | 雑収入合計     | 0          | 3,342      | 3,342      |                                     |
| 収入合計   |           | 22,203,000 | 18,958,779 | -3,244,221 |                                     |

支出の部

(単位:円)

| 科目/事業名      |                   | 2024年度予算   | 2024年度決算   | 差異         | 備考                                      |
|-------------|-------------------|------------|------------|------------|-----------------------------------------|
| 事業費<br>研修事業 | 高度IT技術者研修         | 81,000     | 88,800     | 7,800      | サイバーセキュリティ競技会                           |
|             | 新入社員研修            | 335,000    | 336,588    | 1,588      | 講師謝金、会場費、昼食代                            |
|             | 新春セミナー            | 79,000     | 91,600     | 12,600     | 会場費、謝金                                  |
|             | 展示会・先進地視察         | 1,230,000  | 1,114,720  | -115,280   | 海外視察研修、先進地視察バス代、宿泊代、懇親会、委託費             |
|             | 電気通信資格取得研修        | 150,000    | 0          | -150,000   |                                         |
|             | 事業運営に関わる研修        | 45,710     | 33,060     | -12,650    | 採用担当者セミナー                               |
|             | 研修事業合計            | 1,920,710  | 1,664,768  | -255,942   |                                         |
| 事業費<br>事業推進 | ICT化促進事業          | 155,000    | 164,440    | 9,440      | ITセミナー                                  |
|             | 合同交流会             | 25,000     | 56,000     | 31,000     |                                         |
|             | 産学官連携事業           | 60,000     | 30,000     | -30,000    | 講師謝礼                                    |
|             | ダイバーシティプロジェクト     | 295,000    | 472,071    | 177,071    | 座談会、セミナーチラシ印刷・郵送代、セミナー講師料               |
|             | 連携プラットフォーム        | 50,000     | 20,000     | -30,000    | アカデミックサロン                               |
|             | テクノICTメッセ         | 244,400    | 222,780    | -21,620    | 出展料、相談員謝金                               |
|             | 事業推進<br>(総会、定例会等) | 3,940,500  | 4,203,564  | 263,064    | 総会、納涼会、講演会、賀詞交歓会、ゴルフコンペ、eラーニング、外部団体、会報誌 |
|             | リクルート対応           | 550,500    | 426,350    | -124,150   | インターンシップ、業界紹介セミナー、企業ガイダンス               |
|             | 県委託事業(AI人材育成)     | 5,700,000  | 3,385,030  | -2,314,970 | AI・データ活用スペシャリスト養成業務                     |
|             | ANIA山梨大会          | 6,100,000  | 4,803,526  | -1,296,474 |                                         |
|             | 事業人件費             | 1,177,856  | 1,390,762  | 212,906    |                                         |
|             | 事業推進合計            | 18,298,256 | 15,174,523 | -3,123,733 |                                         |
| 事業費合計       |                   | 20,218,966 | 16,839,291 | -3,379,675 |                                         |
| 管理費         | 謝金                | 0          | 0          | 0          |                                         |
|             | 会議費               | 100,000    | 235,131    | 135,131    |                                         |
|             | 使用料               | 669,000    | 478,368    | -190,632   | ホスティングサービス、理事会室料、コピー機再リース料              |
|             | 消耗品費              | 150,000    | 198,970    | 48,970     | 事務用品                                    |
|             | 印刷製本費             | 0          | 28,600     | 28,600     |                                         |
|             | 旅費                | 200,000    | 279,965    | 79,965     |                                         |
|             | 助成金               | 0          | 0          | 0          |                                         |
|             | 通信運搬費             | 105,000    | 122,821    | 17,821     | 電話、FAX、携帯代、郵便代                          |
|             | 支払手数料             | 413,000    | 412,005    | -995       | 会計事務所、銀行振込手数料                           |
|             | 委託費               | 1,400,000  | 1,400,000  | 0          | やまなし産業支援機構                              |
|             | 広告宣伝費             | 176,000    | 187,000    | 11,000     | 年賀広告                                    |
|             | 受講料               | 0          | 0          | 0          |                                         |
|             | 雑費                | 30,000     | 24,080     | -5,920     |                                         |
|             | 社会活動費             | 30,000     | 42,320     | 12,320     | 慶弔金                                     |
|             | 管理人件費             | 1,162,293  | 1,274,624  | 112,331    |                                         |
|             | 管理福利厚生費           | 82,668     | 191,643    | 108,975    |                                         |
|             | 備品購入費             | 0          | 0          | 0          |                                         |
|             | 負担金(加盟団体会費)       | 483,500    | 483,500    | 0          | 加入団体年会費                                 |
|             | 租税公課              | 71,000     | 122,700    | 51,700     | 法人税、消費税                                 |
|             | 寄付金               | 0          | 0          | 0          |                                         |
|             | 管理費合計             | 5,072,461  | 5,481,727  | 409,266    |                                         |
| 支出合計        |                   | 25,291,427 | 22,321,018 | -2,970,409 |                                         |
| 当期収支差額      |                   | -3,088,427 | -3,362,239 | -273,812   |                                         |
| 前期繰越収支差額    |                   | 7,022,433  | 7,022,433  | 0          |                                         |
| 次期繰越収支差額    |                   | 3,934,006  | 3,660,194  | -273,812   |                                         |

## 2. 貸借対照表

(単位：円)

| 科 目           | 2024年度    | 前年度       | 増 減        |
|---------------|-----------|-----------|------------|
| I 資産の部        |           |           |            |
| 1. 流動資産       |           |           |            |
| 現金預金          | 3,672,374 | 5,616,484 | -1,944,110 |
| ANIA全国大会準備金   |           | 1,000,003 | -1,000,003 |
| 未収金           |           | 411,280   | -411,280   |
| 流動資産合計        | 3,672,374 | 7,027,767 | -3,355,393 |
| 2. 固定資産       |           |           |            |
| (1) 基本財産      |           |           |            |
| 基本財産合計        |           |           |            |
| (2) 特定資産      |           |           |            |
| 特定資産合計        |           |           |            |
| (3) その他固定資産   |           |           |            |
| その他固定資産合計     |           |           |            |
| 固定資産合計        |           |           |            |
| 資産合計          | 3,672,374 | 7,027,767 | -3,355,393 |
| II 負債の部       |           |           |            |
| 1. 流動負債       |           |           |            |
| 預り金           | 12,180    | 5,334     | 6,846      |
| 未払金           |           |           |            |
| 流動負債合計        | 12,180    | 5,334     | 6,846      |
| 2. 固定負債       |           |           |            |
| 固定負債合計        |           |           |            |
| 負債合計          | 12,180    | 5,334     | 6,846      |
| III 正味財産の部    |           |           |            |
| 1. 指定正味財産     |           |           |            |
| 指定正味財産合計      |           |           |            |
| (うち基本財産への充当額) |           |           |            |
| (うち特定資産への充当額) |           |           |            |
| 2. 一般正味財産     | 3,660,194 | 7,022,433 | -3,362,239 |
| (うち基本財産への充当額) |           |           |            |
| (うち特定資産への充当額) |           |           |            |
| 正味財産合計        | 3,660,194 | 7,022,433 | -3,362,239 |
| 負債及び正味財産合計    | 3,672,374 | 7,027,767 | -3,355,393 |

### 3. 正味財産増減計算書

(単位：円)

| 科 目             | 2024年度     | 前年度        | 増減         |
|-----------------|------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部    |            |            |            |
| 1. 経常増減の部       |            |            |            |
| (1) 経常収益        |            |            |            |
| 受取会費            | 6,425,000  | 6,310,000  | 115,000    |
| 事業収益            | 11,780,437 | 12,118,430 | -337,993   |
| 受取補助金等          | 350,000    | 300,000    | 50,000     |
| 受取負担金           | 400,000    | 822,560    | -422,560   |
| 受取寄附金           |            |            |            |
| 経常収益計           | 18,955,437 | 19,550,990 | -595,553   |
| (2) 経常費用        |            |            |            |
| 事業費             |            |            |            |
| 人件費             | 1,390,762  | 647,709    | 743,053    |
| 謝金              | 928,308    | 548,800    | 379,508    |
| 旅費              | 921,816    | 463,749    | 458,067    |
| 会議費             | 2,284,363  | 2,839,097  | -554,734   |
| 消耗品費            | 2,639      | 8,680      | -6,041     |
| 印刷製本費           | 431,090    | 495,726    | -64,636    |
| 通信運搬費           | 30,819     | 51,142     | -20,323    |
| 使用料・賃借料         | 965,160    | 1,392,104  | -426,944   |
| 負担金             |            |            |            |
| 委託費             | 3,401,530  | 5,487,000  | -2,085,470 |
| 受講料             | 1,039,500  | 2,079,000  | -1,039,500 |
| 助成金             |            |            |            |
| 広告宣伝費           | 109,280    | 306,230    | -196,950   |
| 雑費              | 530,498    | 530,674    | -176       |
| 支払手数料           |            |            |            |
| ANIA山梨大会        | 4,803,526  |            |            |
| 管理費             |            |            |            |
| 人件費             | 1,466,267  | 712,411    | 753,856    |
| 旅費              | 279,965    | 241,109    | 38,856     |
| 会議費             | 235,131    | 108,977    | 126,154    |
| 謝金              |            |            |            |
| 支払手数料           | 412,005    | 417,725    | -5,720     |
| 消耗品費            | 198,970    | 157,954    | 41,016     |
| 印刷製本費           | 28,600     |            | 28,600     |
| 通信運搬費           | 122,821    | 141,028    | -18,207    |
| 使用料・賃借料         | 478,368    | 592,740    | -114,372   |
| 負担金             | 483,500    | 483,500    |            |
| 事務委託費           | 1,400,000  | 1,400,000  |            |
| 備品購入費           |            |            |            |
| 社会活動費           | 42,320     | 29,410     | 12,910     |
| 広告宣伝費           | 187,000    | 2,420,000  | -2,233,000 |
| 雑費              | 24,080     | 66,550     | -42,470    |
| 租税公課            | 122,700    | 71,000     | 51,700     |
| 寄付金             |            | 300,000    | -300,000   |
| 経常費用計           | 22,321,018 | 21,992,315 | -4,474,823 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | -3,365,581 | -2,441,325 | -924,256   |
| 基本財産評価損益等       |            |            |            |
| 特定資産評価損益等       |            |            |            |
| 投資有価証券評価損益等     |            |            |            |
| 評価損益等計          |            |            |            |
| 当期経常増減額         | -3,365,581 | -2,441,325 | -924,256   |
| 2. 経常外増減の部      |            |            |            |
| (1) 経常外収益       |            |            |            |
| 受取利息            | 3,330      | 74         | 3,256      |
| 受取配当金           |            |            |            |
|                 | 12         | 142,014    | -142,002   |
| 経常外収益計          | 3,342      | 142,088    | -138,746   |
| (2) 経常外費用       |            |            |            |
| 固定資産売却損         |            |            |            |
| 経常外費用計          |            |            |            |
| 当期経常外増減額        | 3,342      | 142,088    | -138,746   |
| 当期一般正味財産増減額     | -3,362,239 | -2,299,237 | -1,063,002 |
| 一般正味財産期首残高      | 7,022,433  | 9,321,670  | -2,299,237 |
| 一般正味財産期末残高      | 3,660,194  | 7,022,433  | -3,362,239 |
| II 指定正味財産増減の部   |            |            |            |
| 受取補助金等          |            |            |            |
| 一般正味財産への振替額     |            |            |            |
| 当期指定正味財産増減額     |            |            |            |
| 指定正味財産期首残高      |            |            |            |
| 指定正味財産期末残高      |            |            |            |
| III 正味財産期末残高    | 3,660,194  | 7,022,433  | -3,362,239 |

#### 4. 正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

| 科 目                  | 実施事業等会計    | 収益事業会計     | 法人会計 | 内部取引消去 | 合 計        |
|----------------------|------------|------------|------|--------|------------|
| <b>I 一般正味財産増減の部</b>  |            |            |      |        |            |
| 1. 経常増減の部            |            |            |      |        |            |
| (1) 経常収益             |            |            |      |        |            |
| 受取会費                 | 6,425,000  |            |      |        | 6,425,000  |
| 事業収益                 | 7,127,437  | 4,653,000  |      |        | 11,780,437 |
| 受取補助金等               | 350,000    |            |      |        | 350,000    |
| 受取負担金                |            | 400,000    |      |        | 400,000    |
| 受取寄附金                |            |            |      |        |            |
| 経常収益計                | 13,902,437 | 5,053,000  |      |        | 18,955,437 |
| (2) 経常費用             |            |            |      |        |            |
| 事業費                  |            |            |      |        |            |
| 人件費                  | 695,381    | 695,381    |      |        | 1,390,762  |
| 謝金                   | 928,308    |            |      |        | 928,308    |
| 旅費                   | 921,816    |            |      |        | 921,816    |
| 会議費                  | 2,284,363  |            |      |        | 2,284,363  |
| 消耗品費                 | 2,639      |            |      |        | 2,639      |
| 印刷製本費                | 431,090    |            |      |        | 431,090    |
| 通信運搬費                | 30,819     |            |      |        | 30,819     |
| 使用料・賃借料              | 871,660    | 93,500     |      |        | 965,160    |
| 負担金                  |            |            |      |        |            |
| 委託費                  | 120,000    | 3,281,530  |      |        | 3,401,530  |
| 受講料                  |            | 1,039,500  |      |        | 1,039,500  |
| 助成金                  |            |            |      |        |            |
| 広告宣伝費                | 109,280    |            |      |        | 109,280    |
| 雑費                   | 520,498    | 10,000     |      |        | 530,498    |
| 支払手数料                |            |            |      |        |            |
| ANIA山梨大会             | 4,803,526  |            |      |        | 4,803,526  |
| 管理費                  |            |            |      |        |            |
| 人件費                  | 1,075,401  | 390,866    |      |        | 1,466,267  |
| 旅費                   | 205,335    | 74,630     |      |        | 279,965    |
| 会議費                  | 172,452    | 62,679     |      |        | 235,131    |
| 謝金                   |            |            |      |        |            |
| 支払手数料                | 302,176    | 109,829    |      |        | 412,005    |
| 消耗品費                 | 145,931    | 53,039     |      |        | 198,970    |
| 印刷製本費                | 20,977     | 7,623      |      |        | 28,600     |
| 通信運搬費                | 90,081     | 32,740     |      |        | 122,821    |
| 使用料・賃借料              | 350,849    | 127,519    |      |        | 478,368    |
| 負担金                  | 354,613    | 128,887    |      |        | 483,500    |
| 事務委託費                | 1,026,799  | 373,201    |      |        | 1,400,000  |
| 備品購入費                |            |            |      |        |            |
| 社会活動費                | 31,039     | 11,281     |      |        | 42,320     |
| 広告宣伝費                | 137,151    | 49,849     |      |        | 187,000    |
| 雑費                   | 17,661     | 6,419      |      |        | 24,080     |
| 租税公課                 | 14,092     | 108,608    |      |        | 122,700    |
| 寄付金                  |            |            |      |        |            |
| 経常費用計                | 15,663,937 | 6,657,081  |      |        | 22,321,018 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額      | -1,761,500 | -1,604,081 |      |        | -3,365,581 |
| 基本財産評価損益等            |            |            |      |        |            |
| 特定資産評価損益等            |            |            |      |        |            |
| 投資有価証券評価損益等          |            |            |      |        |            |
| 評価損益等計               |            |            |      |        |            |
| 当期計上増減額              | -1,761,500 | -1,604,081 |      |        | -3,365,581 |
| 2. 経常外増減の部           |            |            |      |        |            |
| (1) 計上外収益            |            |            |      |        |            |
| 受取利息                 |            | 3,330      |      |        | 3,330      |
| 受取配当金                |            |            |      |        |            |
| 雑収入                  |            | 12         |      |        | 12         |
| 経常外収益計               |            | 3,342      |      |        | 3,342      |
| (2) 計上外費用            |            |            |      |        |            |
| 固定資産売却損              |            |            |      |        |            |
| 経常外費用計               |            |            |      |        |            |
| 当期経常外増減額             |            | 3,342      |      |        | 3,342      |
| 当期一般正味財産増減額          | -1,761,500 | -1,600,739 |      |        | -3,362,239 |
| 一般正味財産期首残高           | 14,732,713 | -7,710,280 |      |        | 7,022,433  |
| 一般正味財産期末残高           | 12,971,213 | -9,311,019 |      |        | 3,660,194  |
| <b>II 指定正味財産増減の部</b> |            |            |      |        |            |
| 受取補助金等               |            |            |      |        |            |
| 一般正味財産への振替額          |            |            |      |        |            |
| 当期指定正味財産増減額          |            |            |      |        |            |
| 指定正味財産期首残高           |            |            |      |        |            |
| 指定正味財産期末残高           |            |            |      |        |            |
| <b>III 正味財産期末残高</b>  | 12,971,213 | -9,311,019 |      |        | 3,660,194  |

## 5. 財産目録

2025年3月31日現在

(単位:円)

| 科 目        | 金 額       |
|------------|-----------|
| I 資産の部     |           |
| 1. 流動資産    |           |
| 普通預金       |           |
| 山梨中央銀行城南支店 | 3,672,374 |
| 未収金        | 0         |
| 流動資産合計     | 3,672,374 |
| 資産合計       | 3,672,374 |
| II 負債の部    |           |
| 1. 流動負債    |           |
| 預り金        | 12,180    |
| 未払金        | 0         |
| 流動負債合計     | 12,180    |
| 負債合計       | 12,180    |
| III 正味財産の部 |           |
| 正味財産合計     | 3,660,194 |
| 負債及び正味財産合計 | 3,672,374 |

## 6. 計算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金・預金・未払金・預り金を含めている。

### 2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目      | 金 額       |
|----------|-----------|
| 普通預金     | 3,672,374 |
| 未収金      | 0         |
| 未払金      | 0         |
| 預り金      | 12,180    |
| 合計       | 3,660,194 |
| 次期繰越収支差額 | 3,660,194 |



## 監査報告書

一般社団法人 山梨県情報通信業協会  
会長 長坂 正彦 殿

監事2名は、一般社団法人山梨県情報通信業協会定款第24条第5項の規程により、  
2024年度の当協会の収入および支出書類等諸帳簿を精査したところ、正確に処理され、  
かつその業務が正常に運営されていたことを確認しましたので、報告いたします。

2025年 5月 9日

監事 渡辺良樹



監事 油川 寛也



## 【第2号議案】

### 理事選任について

浅川理事(株)YSKe-com 顧問より理事職辞任の申し出に伴い、定款第25条に従い、新たな理事職選任をお願いするものであります。既に理事会にて理事職候補者を推薦しております。理事職候補者は、次のとおりであります。

#### 役員（案）

| 役職 | 氏名              | 会社名・役職              |
|----|-----------------|---------------------|
| 理事 | 奥山 栄樹（おくやま えいき） | (株)YSKe-com 代表取締役社長 |

任期につきましては定款第25条に基づき、現任者の任期の満了する（2024年6月13日～2026年度通常総会（6月予定））までとなっており、役員の任期は、その残任期間となります。2025年度（一社）山梨県情報通信業協会体制については以下の通りです。

| 役 職  | 氏 名    | 会 社 名・役 職                | 備 考      |
|------|--------|--------------------------|----------|
| 名誉会長 | 飯室 元邦  | (株)YSKe-com 代表取締役会長      |          |
| 役 職  | 氏 名    | 会 社 名・役 職                | 備 考      |
| 会長   | 長坂 正彦  | (株)ワイ・シー・シー 代表取締役社長      |          |
| 副会長  | 中込 裕   | (株)システムインナカゴミ 代表取締役社長    |          |
| 副会長  | 宿沢 一六  | (株)ネオシステム ファウンダー         | 人材委員会委員長 |
| 理事   | 井上 清美  | (株)ブリリアント 代表取締役社長        | 交流委員会委員長 |
| 理事   | 高山 尚文  | (株)シンク情報システム 代表取締役       | 研修委員会委員長 |
| 理事   | 奥山 栄樹  | (株)YSKe-com 代表取締役社長      | 事業委員会委員長 |
| 理事   | 清水 久   | (株)サンテレコム 顧問             |          |
| 理事   | 中尾 均   | (株)エヌディエス 代表取締役会長        |          |
| 理事   | 吾妻 幸彦  | (株)コンピュータマインド 取締役相談役     |          |
| 理事   | 清水 宏   | (株)エスエスワイ 代表取締役社長        |          |
| 理事   | 丸茂 正樹  | (株)マルモ 代表取締役社長           |          |
| 理事   | 奈良田 伸司 | (株)山梨ニューメディアセンター 代表取締役社長 |          |
| 役 職  | 氏 名    | 会 社 名・役 職                | 備 考      |
| 監事   | 渡邊 良樹  | 山梨パナソニックシステム(株) 代表取締役社長  |          |
| 監事   | 油川 竜也  | (株)エービーエス 代表取締役社長        |          |

## 報告事項 1

### 2025年度事業計画及び2025年度収支予算の報告

#### 2025年度事業計画

自 2025年4月1日

至 2026年3月31日

## 1 業界を取り巻く情勢と基本認識について

内閣府では、令和7年度は、総合経済対策の効果が下支えとなっており、賃金上昇が物価上昇を上回り、個人消費が増加するとともに、企業の設備投資も堅調な動きが継続するなど、引き続き、民間需要主導の経済成長となることが期待されます。令和7年度の実質GDP成長率は1.2%程度、名目GDP成長率は2.7%程度、消費者物価（総合）は2.0%程度の上昇率になると見込まれています。

国は地方創生を推進するためデジタル庁を発足後、民間からの人材を活用した体制に強化しつつ、全国自治体システムの標準化やマイナンバーカードの普及促進による利便性向上に向け取り組んでおります。デジタル田園都市国家構想を旗印としてデジタル地方創生を重要施策として位置づけ、スマートシティ構想や産業分野へのDX（デジタルトランスフォーメーション）の進展に向け、助成支援策を拡充しております。

IT業界では、特に生成AIによる業務革新と効率化が進み、業務の効率化だけでなく、創造的な業務にも大きな影響を与えると想定されます。また、デジタル化が進む一方で、サイバー攻撃の脅威も増大します。AIを活用した高度なサイバー攻撃が一般化し、企業や組織はより強固なセキュリティ対策を求められるようになります。これらの多岐にわたる技術革新が予想されています。これらの新技術は、ビジネスモデルや働き方に大きな変革をもたらすと共に、環境に配慮したサステナブルテクノロジーの重要性も高まり、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが加速すると考えられます。

### ■協会での取り組み方針について

当協会は昨年、設立30周年の節目を迎えることが出来ました。この記念すべき節目に全国地域情報産業団体連合会（ANIA 全情連）の全国大会を初めて山梨県内で開催し、県内ICT産業の発展の姿をお伝えできました。今年度は、DX化などを通じて積極的に他産業との連携を強化しアライアンスを深めて参ります。女性活躍などダイバーシティ（多様性）に関する会員各社のプロジェクトは県や他業種から高く評価され協会として他産業へ提案する取組みを具現化させて参ります。「山梨テクノICTメッセ事業」については、主催者として本事業に積極的に参画しDX時代にふさわしい事業に転換を図ります。また、生成AIの出現など、目まぐるしく変化するデジタル社会への先導役として、協会としまして「一人ひとりが輝くデジタル社会」の実現に向け行政官庁や産業界の要請に応えるべく高度技術者の育成に努めるとともに、産業界の皆様と社会課題解決に向けた先進的なICT利活用に向けた連携を強化して参ります。

#### （1）高度デジタル人材の育成

協会では、実際の業務に即したデジタルスキルを身につけるインターンシップや実習プログラムを実施することで、学生や若手社員が現場で即戦力となるための能力を養います。

山梨県と連携し、デジタルスキルを習得するための研修やセミナーも定期的で開催しています。また、全国の先進事例を通じて採用者側のノウハウを高める研修会を開催しています。各社の人材育成に加え、将来的には武者修行など会社の枠組みを超えた業界内での取り組みを考えて参ります。

## (2) 地域貢献事業

I CT を通じて地域経済の活性化、災害対策、教育支援などさまざまな分野で活動を展開しており、ICT を駆使した社会貢献に力を入れています。これにより、地域住民がより豊かな生活を送り、持続可能な社会を築くための基盤作りを進めています。

学生向けの ICT 企業ガイダンスやプログラミング教室を開催し、次世代の IT 人材育成に努めています。また、自治体と連携し、災害時の復旧・復興支援協定を締結。災害時の情報通信インフラの確保や復旧活動を通じて、地域の安全・安心に寄与しています。

協会ホームページに DX 相談窓口を開設し、山梨県内の企業からの I T 化（電子化・システム化）・D X 化（AI を含むデータ活用による付加価値・新サービスの提供）について支援しています。これからも多くのコンサルティング・開発実績を持つ山梨県内に拠点を置く会員による、迅速な課題解決をお手伝いして参ります。

## (3) 異業種交流・ダイバーシティインクルージョン活動

当協会における多様性を推進し、社会的な課題に取り組んでいます。山梨県内の企業や団体に向けてダイバーシティ（多様性）に関するセミナーやワークショップを開催し、ダイバーシティを活かすための実践的な知識やスキルを提供しています。これにより、企業内での意識改革を促進し、全ての社員が活躍できる環境を作り上げることを目指しています。また、山梨県内の企業が地域社会との連携を深め、多様な人材を活かした社会貢献活動を展開しています。地域社会の課題解決に貢献するため、ダイバーシティを推進する企業が一丸となり、地域の活性化や社会的な影響力を持つ活動を行っています。このように、ダイバーシティプロジェクト活動は、地域や業界の枠を超えて、多様性を推進し、より良い社会を作るための重要な取り組みを行って参ります。

山梨県では「一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向け、県域の DX 推進を取りまとめる DX 推進統括官体制を強化して、産学官連携による県民の情報化リテラシーの向上やデジタル人材の育成、多様性社会への積極的な施策展開等を行っております。

また、産業分野の『メディカル・デバイス・コリドー構想、航空宇宙防衛関連産業』の強化を打ち出す施策に対し、今後も引き続き山梨県と情報化推進事業に取り組んで参ります。

## 2 委員会活動

委員会活動は、交流委員会、人材委員会、研修委員会、事業委員会、の4つを常務委員会として活動を行います。また、ダイバーシティプロジェクトを新設し女性社員が働きやすい職場環境の改善活動を進めて参ります。

委員会の重点方針は以下の通りとします。

- ◆会員が参加できる（しやすい）事業運営を行う
- ◆産学官連携事業を通じて幅広く人材の確保を推進する
- ◆会員企業及び、山梨県内企業の両面から DX 人材育成の活動に注力する
- ◆異業種連携にて積極的にダイバーシティ活動を推進する
- ◆一般社団法人として、広く山梨県内への啓もう活動とCSRの推進を図る

## 交流委員会の計画 - 井上委員長

### 【概略】

交流委員会は、会員企業間の人的交流や、会員への情報提供、会員企業がメリットを感じるとともに、協会運営に参加できる環境を整えていきます。

今年度は、委員会活動の充実を図るべく、山梨県以外の地域情報サービス産業協会や各種業界団体などとの交流イベントに積極的に参加し、また、多くの会員が必要とする情報提供と会員外の団体・機関ならびに一般の方々に対して協会の PR 活動にも取り組み、協会の存在を広くアピールする。

### 【主な実施項目】

#### 1. 会員の加入促進

協会の活動内容やメリットを幅広くアピールして新規会員獲得を行う。山梨県内の企業数は少ないが、まだ、声をかけていない企業への訪問を含めて勧誘を行い2社の会員増加を目指します。

#### 2. 定例会議の開催

- (1) 通常総会（6月16日）
- (2) 賀詞交歓会（1月28日）
- (3) 理事会（6回）
- (4) 委員会（4回）会報誌発行、各種活動について打合せを行います。

#### 3. 会員間の親睦

- (1) Y S Aゴルフコンペの開催（7月、9月に計画。皆様の参加をお願いします）。
- (2) 交流会・納涼会開催（3回）
- (3) 講演会開催（3回）

#### 4. 広報活動

- (1) H Pによる情報発信
- (2) 会報の発行を通じて協会や会員の活動内容を紹介します。

#### 5. 外部機関・団体との交流事業の推進

- (1) J I S A 通常総会、賀詞交歓会、関東地区会への参加。
- (2) メトロ 事務局会議（7月、11月開催予定）、メトロエリアグリーン（親睦コンペ）10月、メトロ幹部会(3月予定)への参加を通じて情報収集を進める。
- (3) A N I A 全国大会（宮崎県幹事）（10月開催）、総会（7月）、理事会、新春交歓会、事務局会議への参加を通じて情報収集・政策提言の実現を進める。
- (4) 外部諸団体との交流

山梨県、山梨県地域 DX 推進協議会、やまなし産業支援機構、山梨大学のほか情報団体との交流。

## 人材委員会の計画 - 宿沢委員長

### 【概略】

人材委員会では、インターンシップ、業界紹介セミナー、企業ガイダンスを中心に山梨県内外の学校に求人アプローチを行ってまいりました。また、新たに会員各社の採用活動を支援し、レベルアップを図る目的で山梨県大学就職指導研究会様と連携して講演会及び、意見交換会を交えた採用担当者向け研修会を行いました。令和7年度では外部機関と連携してDX人材の育成事業を企画推進し、会員各社の人材確保に更なる貢献を目指してまいります。

### 【主な実施項目】

#### 1. ICT人材の確保

##### (1) インターンシップ

夏季休暇を中心に実施しますが、企業・学生が参加しやすいように実施期間を広げて夏季休暇～冬期休暇まで広げます。受け入れ企業数を16社程度、参加学生数を50名～70名とします。県外の大学（関東近辺）へもパンフレットの配布を通じてUターン学生の参加を促します。

##### (2) 業界紹介セミナー

12月から1月にかけて県内8学校（山梨県立大学、山梨大学、甲府商科専門学校、山梨県立産業技術短期大学校、都留文科大学、サンテクノカレッジ、山梨学院大学、山梨英和大学）を対象として、ICT産業全体の紹介、若手企業社員の体験談の紹介を行います。

より多くの学生さんへ情報提供するためにYoutubeでの視聴が出来る取組みを検討します。

##### (3) 企業ガイダンス

業界紹介セミナーでのパンフレットの配布を中心にして2月に実施いたします。また、首都圏、近隣大学への告知も継続して行います。4年制大学からの参加者の増加を目指していきます。

##### (4) 採用担当者向け研修会

効果的な時流の採用活動および学生意識についての調査研究やセミナー研修、また会員の採用担当者相互および学校就職担当者を交えて採用に関する情報・意見交換会を実施していきます。

#### 2. DX人材育成事業

外部機関と連携して会員向け各種セミナー・講演会の開催を計画してDX取り組み事例等の情報収集を行います。

## 研修委員会の計画 - 高山委員長

### 【概略】

研修委員会は、会員企業に所属する社員の教育を事業目的とし、知見と技術～提案力の向上を目指す。

- ・新しい技術に触れることによる意識向上。
- ・IT/DX による地域の課題解決のための技術力の向上。
- ・IT リスクマネジメントのための安全性などに対する知見の向上。

実施にあたり、技術者（会員企業）と研究者の接点をできるだけ多くもてるよう、産学連携にも重点をおいて事業を実施する。

### 【主な実施項目】

#### 1. 社員研修

##### 1-1. 新入社員研修

会員企業の新入社員を対象としてマナー研修（電話対応、名刺交換、仕事の常識等）を中心とした新入社員研修（集合研修）を実施する。4月14日・15日開催予定。

#### 2. 技術者研修

##### 2-1. DX 化支援（継続事業）

2024 年度の県委託事業で「AI・データ活用スペシャリスト育成業務」と「AI ハッカソン」の事業を行い、実施後のアンケート等から AI・データサイエンスに関心が高く、有効性が確認された。実施にあたり山梨大学の全面協力のもと実施した。

本事業は、独立した2つの事業として、企画から募集、実施まで行ったが、今年度は「AI 人材育成」事業を継続し、より具体的な課題解決に対応できるような技術者育成を目指すため、今年度は「AI 人材育成」～「課題解決のための DX（仮称）」と、一貫したカリキュラムでの実施を目指す。

2-2. サイバーセキュリティについても新人 中堅と分けて研修を実施する。

2-3. NPO 法人 IT コーディネータ山梨のセミナー等への参加を行う。

#### 3. 産学官連携事業

##### 3-1. 山梨大学（継続事業）

山梨大学工学部コンピュータ理工学科との連携事業として、会員企業（4 社程度）から講師を派遣して、各社からの RFP（課題設定）の発行と学生からの提案への対応および総合評価会に参加し、「ソフトウェア開発演習」の支援を行う。

#### 4. 見学・技術交流

##### 4-1. 技術展示会への参加

技術展示会への参加または、その他情報を収集して柔軟に見学会を開催する。

##### 4-2. 新技術実践企業訪問（未確定・調整中）

事業委員会の「先進地視察事業」との共同事業とし、先進的な IT/DX 実線現場（製造業）の視察を行う。

## 事業委員会の計画 - 浅川委員長

### 【概略】

事業委員会では、国や県の受託事業の推進とともに、県内ものづくり産業（山梨県機械電子工業会等）との交流を行い他産業へのICTの利活用の促進を図る。また、シンクタンク機関と情報交換を行い会員相互の連携を強化し新規ソリューションビジネス提案について検討する。

電気通信部会では、CPD 制度活用し CPD 単位を取得するためのセミナー開催を計画し技術者資格認定取得を支援します。

### 【主な実施項目】

#### 1. 成長産業へのICT化促進事業

##### (1) 先進地企業視察

NPO山梨情報通信研究所と共同で会員企業以外の製造業関連の企業からの参加も含めて近隣の効果的にICTを利活用している企業などを訪問するとともに参加者の交流を図る。今年度はDX先進取組み企業をピックアップし現地視察を計画します。

##### (2) アカデミックサロンの開催支援

山梨大学の持つ研究内容（ICTに関連したシーズ）をもとにICT産業での商品化への参考とする。年に4回程度開催する。

#### 2. 山梨テクノICTメッセへの出展

毎年会員企業に多数出展頂いています11月14日～15日に開催されるテクノICTメッセに出展する。2ブース確保して、ITコーディネータ山梨との共同によるICT相談コーナーの開設、山梨学院大学伊藤研究室との共同による子供プログラミング教室の開催を行う。

また、子供たちを対象としたサイバーセキュリティセミナー等の開催を計画します。

#### 3. CPD 制度を活用した資格取得のための講習会（電気通信部会）

多様化・高度化するネットワーク工事で求められる資格取得する支援事業としてCPD制度を活用した講習会やセミナーを山梨県内で開催することを計画します。

#### 4. ものづくり産業と情報交換・交流会の開催

ものづくり産業（山梨県産業技術センター、山梨県機械電子工業会等）と連携を図り、中小企業のDX事業に係るICT利活用について情報交換会や交流会を計画する。

#### 5. 山梨県・シンクタンク機関との定型的な意見交換会の実施

山梨県内での情報化推進をテーマとして山梨県（DX推進部門）及び、シンクタンク機関との年2回程度の意見交換の機会を検討する。

## ダイバーシティプロジェクトの計画 - 諸星リーダー

### 【概略】

2025年度のダイバーシティプロジェクトは、広く会員企業の社員の方々にも参加いただけるような企画を中心に活動を行ってまいります。人材の確保がかなり難しい状況の中で、女性のさらなる活躍を目指し、スキルアップおよび情報交換の場を提供する女性交流会を開催します。また、女性だけでなく、誰もが働きやすい職場環境の改善を図るため、昨年度の座談会や異業種交流で得られた共通のキーワードに基づいたセミナーを企画します。協会内外問わず、本プロジェクトの活動をさらに広げるため、他県の情報通信業協会の方々とも情報交換や交流を深め、その内容をプロジェクトに取り入れていきます。また、県の方々とも情報交換を行い、他業種の方々との連携・交流を深めことで、業界が今以上に魅力的に映るよう、引き続き、活動を行ってまいります。

### 【主な実施項目】

#### 1. 外部団体との情報交換・意見交換

##### (1) 山梨県

引き続き、多様性社会・人材活躍推進局男女共同参画・外国人活躍推進課の方々とも情報交換・意見交換を行いながら、他業種の方々との連携・交流も図る。

##### (2) 他県情報通信業協会

本プロジェクトの活動の更なる広がりにつながるような活動を行っている他県の情報通信業協会と情報交換・意見交換を通じて交流を図り、活動内容を本プロジェクトにも取り入れていく。

初回：宮城県情報通信業協会（予定）

#### 2. セミナー開催

女性のみならず誰にとっても今以上に働きやすい職場環境にするため、昨年度行った異業種交流で得られた共通のキーワード「アンコンシャス・バイアス」に基づいたセミナーを企画する。

#### 3. 女性交流会（仮称）の開催

人材の確保が難しい状況下で、女性にもさらに活躍していただくため、女性交流会を開催し、スキルアップの場および情報交換の場を提供する。

#### 4. 会員企業間と積極的な交流を図る（YSA 年間行事への参加）

- 1) 6月16日 交流会への出席
- 2) 7月24日 納涼会への出席
- 3) 1月28日 賀詞交歓会への出席

#### 5. 各活動案内および活動報告の周知について

各活動案内および活動報告は、YSA ホームページを通じて会員企業に周知する。必要に応じ、関係諸団体にも共有を行う。また、賀詞交歓会にて活動の状況を報告する。

◇ J I S A (Japan Information Technology Services Industry Association : 一般社団法人情報サービス産業協会)

全国の情報サービス産業約 6 0 0 社で構成された国内最大の情報サービス産業団体であり、情報サービスに係る事業の基盤整備を通じ、情報サービス産業の健全な発展を図るとともに、我が国の情報化を促進し、もって経済・社会の発展に寄与することを目的としています。

◇ A N I A (All Nippon information industry Association Federation : 一般社団法人全国地域情報団体連合会)

北海道から九州までの各県の情報通信産業団体の 1 7 正会員と企業会員、および他の全国規模の情報団体（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会等）から構成され、地域の情報通信産業の発展のため、また情報通信インフラの整備や未来の社会づくりのための政府への提言等の活動を行うことを目的としている。当協会の井上理事が A N I A の理事を拝命しております。

◇ 広域メトロ（広域首都圏情報団体連絡協議会）

6 都県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、福島県、山梨県）の情報団体で構成され、主に各都県の活動の情報交換や相互の交流を行うことを目的として設立されました。J I S A や A N I A と比較して、より関東首都圏域・規模的に柔軟で身近な問題の意見交換をする組織であります。

## 2025年度収支予算

自 2025年 4月 1日  
至 2026年 3月31日

## 1. 2025 年度予算編成について

2025 年度の事業計画書・予算計画書につきましては、各委員会の事業活動を拡大し県内外の関連団体との連携を強化すると共に、2025 年度より「山梨テクノ I C T メッセ事業」については、主催者として本事業に積極的に参画し DX 時代にふさわしい事業に転換を図ります。

また、DX 推進に関わる委託事業も産学官連携にて地域貢献を果たしてまいります。

当協会の会員に積極的に事業活動に参加いただき知見を広め新規ビジネスの検討や会員相互の情報交換・交流を行うことを前提に予算編成を行っております。

# (1) 2025年度収支

## 収入の部

(単位:円)

| 科目        | 2025年度<br>予算      | 2024年度<br>実績      | 増減                | 備考                       |
|-----------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------------|
| 入会金収入     | 50,000            | 100,000           | -50,000           | 新規加入1社                   |
| 会費収入      | 5,980,000         | 5,885,000         | 95,000            | 正会員62社賛助会員6社、特別会員1社、新規1社 |
| 特別会費収入    | 440,000           | 440,000           | 0                 | 理事特別会費                   |
| 事業収入      | 5,276,000         | 8,315,437         | -3,039,437        | 参加費等収入                   |
| 補助金収入     | 350,000           | 350,000           | 0                 | JISA、県                   |
| 受託事業収入    | 3,465,000         | 3,465,000         | 0                 | 県                        |
| 負担金収入     | 0                 | 400,000           | -400,000          | NPO営業支援費                 |
| 雑収入       | 0                 | 3,342             | -3,342            |                          |
| <b>合計</b> | <b>15,561,000</b> | <b>18,958,779</b> | <b>-3,397,779</b> |                          |

## 支出の部

| 科目          | 2025年度<br>予算      | 2024年度<br>実績      | 増減                | 備考               |
|-------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| <b>事業費</b>  | <b>12,073,265</b> | <b>16,839,291</b> | <b>-4,766,026</b> |                  |
| 謝金          | 925,000           | 928,308           | -3,308            |                  |
| 会議費         | 2,471,000         | 2,284,363         | 186,637           |                  |
| 使用料         | 1,040,280         | 965,160           | 75,120            |                  |
| 消耗品費        | 0                 | 2,639             | -2,639            |                  |
| 印刷製本費       | 436,500           | 431,090           | 5,410             |                  |
| 旅費          | 475,000           | 921,816           | -446,816          |                  |
| 助成金         | 0                 | 0                 | 0                 |                  |
| 通信運搬費       | 32,000            | 30,819            | 1,181             |                  |
| 支払手数料       | 0                 | 0                 | 0                 |                  |
| 委託費         | 3,410,000         | 3,401,530         | 8,470             |                  |
| 広告宣伝費       | 110,000           | 109,280           | 720               |                  |
| 受講料         | 1,144,000         | 1,039,500         | 104,500           |                  |
| ANIA山梨大会運営費 | 0                 | 4,803,526         | -4,803,526        |                  |
| 雑費          | 550,800           | 530,498           | 20,302            |                  |
| 事業人件費       | 1,281,960         | 1,207,615         | 74,345            |                  |
| 事業福利厚生費     | 196,725           | 183,147           | 13,578            |                  |
| <b>管理費</b>  | <b>5,565,785</b>  | <b>5,481,727</b>  | <b>84,058</b>     |                  |
| 謝金          | 0                 | 0                 | 0                 |                  |
| 会議費         | 150,000           | 235,131           | -85,131           |                  |
| 使用料         | 580,000           | 478,368           | 101,632           | ホスティングサービス、理事会室料 |
| 消耗品費        | 180,000           | 198,970           | -18,970           |                  |
| 印刷製本費       | 29,000            | 28,600            | 400               |                  |
| 旅費交通費       | 280,000           | 279,965           | 35                |                  |
| 助成金         | 0                 | 0                 | 0                 |                  |
| 通信運搬費       | 115,000           | 122,821           | -7,821            | 携帯、電話代、郵便料       |
| 支払手数料       | 413,000           | 412,005           | 995               | 深澤会計事務所、銀行手数料    |
| 委託費         | 1,400,000         | 1,400,000         | 0                 | やまなし産業支援機構       |
| 広告宣伝費       | 187,000           | 187,000           | 0                 | 年賀広告             |
| 受講料         | 0                 | 0                 | 0                 |                  |
| 雑費          | 25,000            | 24,080            | 920               |                  |
| 社会活動費       | 45,000            | 42,320            | 2,680             | 慶弔金              |
| 管理人件費       | 1,350,360         | 1,274,624         | 75,736            |                  |
| 管理福利厚生費     | 205,225           | 191,643           | 13,582            |                  |
| 備品購入費       | 0                 | 0                 | 0                 |                  |
| 負担金(加盟団体会費) | 483,500           | 483,500           | 0                 |                  |
| 納税準備金       | 122,700           | 122,700           | 0                 | 法人税              |
| 寄付金         | 0                 | 0                 | 0                 |                  |
| <b>合計</b>   | <b>17,639,050</b> | <b>22,321,018</b> | <b>-4,681,968</b> |                  |

|    |            |            |  |
|----|------------|------------|--|
| 収支 | -2,078,050 | -3,362,239 |  |
|----|------------|------------|--|

(2) 事業別収入

| 科目／事業名   |             | 2025年度<br>予算 | 2024年度<br>実績 | 増減         | 備考              |
|----------|-------------|--------------|--------------|------------|-----------------|
| 会費収入     | 入会金         | 50,000       | 100,000      | -50,000    | 新規加入1社          |
|          | 年会費         | 5,980,000    | 5,885,000    | 95,000     | 既加入592万円、新規6万円  |
|          | 理事特別会費      | 440,000      | 440,000      | 0          |                 |
| 会費収入合計   |             | 6,470,000    | 6,425,000    | 45,000     |                 |
| 事業収入     | 新入社員研修      | 330,000      | 310,000      | 20,000     | 参加費             |
|          | 高度IT技術者研修   | 0            | 0            | 0          |                 |
|          | 賀詞交歓会       | 690,000      | 685,000      | 5,000      |                 |
|          | 情報交換会他(参加費) | 1,730,000    | 821,000      | 909,000    | ゴルフコンペ、交流会、セミナー |
|          | 展示会・先進地視察   | 350,000      | 320,000      | 30,000     | 参加費             |
|          | 異業種交流事業     | 56,000       | 56,000       | 0          | 合同交流会           |
|          | ICT化促進事業    | 800,000      | 789,664      | 10,336     | 情報通信活用促進事業      |
|          | 事務受託事業      | 1,320,000    | 1,188,000    | 132,000    | e-ラーニング         |
|          | 産学官連携事業     | 0            | 0            | 0          |                 |
|          | ANIA山梨大会    | 0            | 3,835,000    | -3,835,000 |                 |
|          | その他         | 0            | 310,773      | -310,773   | 負担金             |
| 事業収入合計   |             | 5,276,000    | 8,315,437    | -3,039,437 |                 |
| 補助金収入    | JISA        | 300,000      | 300,000      | 0          | JISA地域高度化事業     |
|          | 県           | 50,000       | 50,000       | 0          | 男女共同参画団体活動促進事業  |
| 補助金収入合計  |             | 350,000      | 350,000      | 0          |                 |
| 受託事業収入   | 県(AI人材育成)   | 3,465,000    | 3,465,000    | 0          | AI人材育成事業、新規推進事業 |
|          |             | 0            | 0            | 0          |                 |
| 受託事業収入合計 |             | 3,465,000    | 3,465,000    | 0          |                 |
| 負担金収入    | 事務負担金       | 0            | 400,000      | -400,000   | 見守りセンター営業支援金    |
|          | その他         | 0            | 0            | 0          |                 |
| 負担金収入合計  |             | 0            | 400,000      | -400,000   |                 |
| 雑収入      | 受取利息        | 0            | 3,330        | -3,330     |                 |
|          | その他         | 0            | 12           | -12        |                 |
| 雑収入合計    |             | 0            | 3,342        | -3,342     |                 |
| 合計       |             | 15,561,000   | 18,958,779   | -3,397,779 |                 |

### (3) 事業別支出

(単位:円)

| 科目／事業名       |                 | 2025年度<br>予算      | 2024年度<br>実績      | 増減                | 備考                                                                                                                               |
|--------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業費<br>研修事業  | 高度IT技術者研修       | 88,800            | 88,800            | 0                 |                                                                                                                                  |
|              | 新入社員研修          | 344,240           | 336,588           | 7,652             | 謝金、昼食代、室料                                                                                                                        |
|              | 新春セミナー          | 95,000            | 91,600            | 3,400             | 謝金、室料                                                                                                                            |
|              | 展示会・先進地視察       | 737,000           | 1,114,720         | -377,720          | バス代(展示会、先進地)<br>先進地視察懇親会費・宿泊費                                                                                                    |
|              | 電気通信資格取得研修      | 0                 | 0                 | 0                 |                                                                                                                                  |
|              | 事業運営に関わる研修      | 33,060            | 33,060            | 0                 | 謝金、会場費                                                                                                                           |
|              | <b>研修事業合計</b>   | <b>1,298,100</b>  | <b>1,664,768</b>  | <b>-366,668</b>   |                                                                                                                                  |
| 事業費<br>事業推進  | ICT化促進事業(CIO研修) | 164,440           | 164,440           | 0                 | 謝金、室料                                                                                                                            |
|              | 合同交流会           | 56,000            | 56,000            | 0                 | 参加費                                                                                                                              |
|              | 産学官連携事業         | 30,000            | 30,000            | 0                 | 講師謝礼                                                                                                                             |
|              | ダイバーシティプロジェクト   | 497,000           | 472,071           | 24,929            | 謝金、会場費、会議費                                                                                                                       |
|              | 連携プラットフォーム      | 30,000            | 20,000            | 10,000            | アカデミックサロン会場費                                                                                                                     |
|              | テクノICTメッセ       | 223,340           | 222,780           | 560               | 謝金(相談コーナー)<br>昼食代、2ブース使用料                                                                                                        |
|              | 事業推進            | 4,560,500         | 4,203,564         | 356,936           | 謝金(講演会)<br>会議費(総会、賀詞交歓会、ゴルフコン<br>ペ、ANIA、JISA、メトロ幹部会、メトロ事<br>務局会議)<br>室料(総会、講演会)<br>外部団体行事旅費<br>ゴルフコンペ賞品代<br>e-ラーニング<br>メトロコンペ参加費 |
|              | リクルート対応         | 445,200           | 426,350           | 18,850            | チラシデザイン・印刷、資料印刷、学生<br>保険料、会場費                                                                                                    |
|              | 県委託事業(AI人材育成)   | 3,290,000         | 3,385,030         | -95,030           |                                                                                                                                  |
|              | ANIA山梨大会        | 0                 | 4,803,526         | -4,803,526        |                                                                                                                                  |
|              | 事業労務費           | 1,478,685         | 1,390,762         | 87,923            |                                                                                                                                  |
|              | <b>事業推進合計</b>   | <b>10,775,165</b> | <b>15,174,523</b> | <b>-4,399,358</b> |                                                                                                                                  |
| <b>事業費合計</b> |                 | <b>12,073,265</b> | <b>16,839,291</b> | <b>-4,766,026</b> |                                                                                                                                  |
| 管理費          | 謝金              | 0                 | 0                 | 0                 |                                                                                                                                  |
|              | 会議費             | 150,000           | 235,131           | -85,131           |                                                                                                                                  |
|              | 使用料             | 580,000           | 478,368           | 101,632           | ホスティングサービス、理事会室料、コ<br>ピー機再リース料、プロジェクターリース<br>料                                                                                   |
|              | 消耗品費            | 180,000           | 198,970           | -18,970           | 事務用品、コピー機トナー                                                                                                                     |
|              | 印刷製本費           | 29,000            | 28,600            | 400               |                                                                                                                                  |
|              | 旅費              | 280,000           | 279,965           | 35                |                                                                                                                                  |
|              | 助成金             | 0                 | 0                 | 0                 |                                                                                                                                  |
|              | 通信運搬費           | 115,000           | 122,821           | -7,821            |                                                                                                                                  |
|              | 支払手数料           | 413,000           | 412,005           | 995               | 会計事務所、銀行振込手数料                                                                                                                    |
|              | 委託費             | 1,400,000         | 1,400,000         | 0                 | やまなし産業支援機構                                                                                                                       |
|              | 広告宣伝費           | 187,000           | 187,000           | 0                 | 新聞広告                                                                                                                             |
|              | 受講料             | 0                 | 0                 | 0                 |                                                                                                                                  |
|              | 雑費              | 25,000            | 24,080            | 920               |                                                                                                                                  |
|              | 社会活動費           | 45,000            | 42,320            | 2,680             | 慶弔費                                                                                                                              |
|              | 管理人件費           | 1,350,360         | 1,274,624         | 75,736            |                                                                                                                                  |
|              | 管理福利厚生費         | 205,225           | 191,643           | 13,582            |                                                                                                                                  |
|              | 備品購入費           | 0                 | 0                 | 0                 |                                                                                                                                  |
|              | 負担金(加盟団体会費)     | 483,500           | 483,500           | 0                 | 年会費 JISA、NPO、ANIA、山梨県職<br>業能力開発、DX推進協議会、山梨県中<br>央会、ITC山梨                                                                         |
|              | 納税準備金           | 122,700           | 122,700           | 0                 | 県、市法人税、消費税                                                                                                                       |
|              | 寄付金             | 0                 | 0                 | 0                 |                                                                                                                                  |
| <b>管理費合計</b> |                 | <b>5,565,785</b>  | <b>5,481,727</b>  | <b>84,058</b>     |                                                                                                                                  |
| <b>合計</b>    |                 | <b>17,639,050</b> | <b>22,321,018</b> | <b>-4,681,968</b> |                                                                                                                                  |
| 収支差額         |                 | <b>-2,078,050</b> | <b>-3,362,239</b> |                   |                                                                                                                                  |

(4) 正味財産増減計画書

(単位:円)

|                | 2025年度     | 2024年度     | 増減         |
|----------------|------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部   |            |            |            |
| 1. 経常増減の部      |            |            |            |
| (1) 経常収益       |            |            |            |
| 会費             | 6,470,000  | 6,425,000  | 45,000     |
| 事業収益           | 5,276,000  | 4,480,437  | 795,563    |
| 事業収益(ANIA山梨大会) | 0          | 3,835,000  |            |
| その他収益          | 3,815,000  | 4,218,342  | -403,342   |
| 経常収益計          | 15,561,000 | 18,958,779 | -3,397,779 |
| (2) 経常費用       |            |            | 0          |
| 事業費            | 12,073,265 | 16,839,291 | -4,766,026 |
| 人件費            | 1,478,685  | 1,390,762  | 87,923     |
| 謝金             | 925,000    | 928,308    | -3,308     |
| 旅費             | 475,000    | 921,816    | -446,816   |
| 会議費            | 2,471,000  | 2,284,363  | 186,637    |
| 消耗品費           | 0          | 2,639      | -2,639     |
| 印刷製本費          | 436,500    | 431,090    | 5,410      |
| 通信運搬費          | 32,000     | 30,819     | 1,181      |
| 使用料・貸借料        | 1,040,280  | 965,160    | 75,120     |
| 負担金            |            |            | 0          |
| 委託費            | 3,410,000  | 3,401,530  | 8,470      |
| 受講料            | 1,144,000  | 1,039,500  | 104,500    |
| 助成金            | 0          | 0          | 0          |
| 広告宣伝費          | 110,000    | 109,280    | 720        |
| 雑費             | 550,800    | 530,498    | 20,302     |
| 支払手数料          | 0          | 0          | 0          |
| ANIA山梨大会運営費    | 0          | 4,803,526  | -4,803,526 |
| 管理費            | 5,565,785  | 5,481,727  | 84,058     |
| 人件費            | 1,555,585  | 1,466,267  | 89,318     |
| 旅費             | 280,000    | 279,965    | 35         |
| 会議費            | 150,000    | 235,131    | -85,131    |
| 謝金             | 0          | 0          | 0          |
| 支払手数料          | 413,000    | 412,005    | 995        |
| 消耗品費           | 180,000    | 198,970    | -18,970    |
| 印刷製本費          | 29,000     | 28,600     | 400        |
| 通信運搬費          | 115,000    | 122,821    | -7,821     |
| 使用料・貸借料        | 580,000    | 478,368    | 101,632    |
| 負担金            | 483,500    | 483,500    | 0          |
| 事務委託費          | 1,400,000  | 1,400,000  | 0          |
| 備品購入費          | 0          | 0          | 0          |
| 社会活動費          | 45,000     | 42,320     | 2,680      |
| 広告宣伝費          | 187,000    | 187,000    | 0          |
| 雑費             | 25,000     | 24,080     | 920        |
| 租税公課           | 122,700    | 122,700    | 0          |
| 寄付金            | 0          | 0          | 0          |
| 経常費用計          | 17,639,050 | 22,321,018 | -4,681,968 |
| 当期経常増減額        | -2,078,050 | -3,362,239 | 1,284,189  |
| 2. 経常外増減の部     |            |            |            |
| (1) 経常外収益      |            |            | 0          |
| 経常外収益計         | 0          | 0          | 0          |
| (2) 経常外費用      |            |            |            |
| 準備金            |            |            | 0          |
| 経常外費用計         | 0          | 0          | 0          |
| 当期経常外増減額       | 0          | 0          | 0          |
| 当期一般正味財産増減額    | -2,078,050 | -3,362,239 | 1,284,189  |
| 一般正味財産期首残高     | 3,660,194  | 7,022,433  | -3,362,239 |
| 一般正味財産期末残高     | 1,582,144  | 3,660,194  | -2,078,050 |
| II 指定正味財産増減の部  |            |            |            |
| III 正味財産期末残高   | 1,582,144  | 3,660,194  |            |

# (5) 貸借対照表

(単位：円)

| 科 目           | 2025年度予算  | 2024年度    | 増 減        |
|---------------|-----------|-----------|------------|
| I 資産の部        |           |           | 0          |
| 1. 流動資産       |           |           | 0          |
| 現金預金          | 1,595,144 | 3,672,374 | -2,077,230 |
| 未収金           |           |           | 0          |
| 流動資産合計        | 1,595,144 | 3,672,374 | -2,077,230 |
| 2. 固定資産       |           |           | 0          |
| (1) 基本財産      |           |           | 0          |
| 基本財産合計        | 0         | 0         | 0          |
| (2) 特定資産      |           |           | 0          |
| 特定資産合計        | 0         | 0         | 0          |
| (3) その他固定資産   |           |           | 0          |
| その他固定資産合計     | 0         | 0         | 0          |
| 固定資産合計        | 0         | 0         | 0          |
| 資産合計          | 1,595,144 | 3,672,374 | -2,077,230 |
| II 負債の部       |           |           | 0          |
| 1. 流動負債       |           |           | 0          |
| 預り金           | 13,000    | 12,180    | 820        |
| 未払金           |           |           | 0          |
| 流動負債合計        | 13,000    | 12,180    | 820        |
| 2. 固定負債       |           |           | 0          |
| 固定負債合計        | 0         | 0         | 0          |
| 負債合計          | 13,000    | 12,180    | 820        |
| III 正味財産の部    |           |           | 0          |
| 1. 指定正味財産     |           |           | 0          |
| 指定正味財産合計      | 0         | 0         | 0          |
| (うち基本財産への充当額) |           |           | 0          |
| (うち特定資産への充当額) |           |           | 0          |
| 2. 一般正味財産     | 1,582,144 | 3,660,194 | -2,078,050 |
| (うち基本財産への充当額) |           |           | 0          |
| (うち特定資産への充当額) |           |           | 0          |
| 正味財産合計        | 1,582,144 | 3,660,194 | -2,078,050 |
| 負債及び正味財産合計    | 1,595,144 | 3,672,374 | -2,077,230 |

## 報告事項 2

### YSA 会費見直し特別委員会設置について

#### （背景）

2023 年度よりコロナ終息時期を見計らいながら徐々に事業活動を拡大方針にて実施して参りました。その結果として直近 2 年間では、収入より支出が大きく上回る結果となり、繰越金を充当し事業運営をして参りました。2025 年度予算編成についても収入より支出が大きく 2026 年度の繰越金をさらに減らす見込みとなります。従いまして、来期以降より収支均衡のとれた予算編成への検討見直しが必要となります。

2025 年度において、「YSA 会費見直し特別委員会」を新たに発足させ、2026 年度予算編成時期までに、新たな基準で見直した会費を理事会で承認いただき、編成に向かうことが 2024 年度第 7 回理事会（3 月 27 日開催）にて決められました。

#### （特別委員会設置）

当協会において、「YSA 会費見直し特別委員会」を設置することとなりました。

以下にその目的および構成について説明いたします。

##### 1) 設置目的

特別委員会は、会費見直しに対する対応策を検討するために設置されました。

この委員会は、関係者の意見を集約し、最適な方策を提案することを目的としています。

##### 2) 委員会の構成

委員会構成メンバーは、後日理事会にてメンバーを選定いたします。

##### 3) 活動内容

委員会では、次の活動を行います。

- ・他県組織（情報産業協会）へのヒアリング調査および分析
- ・会員各社へのアンケート（会費決定に関する事項）調査および分析
- ・委員会会議開催および理事会提出案の作成

##### 4) 活動期間

委員会の活動期間は、2025 年 7 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日までを予定しています。

## 報告事項 3

### 新規会員の紹介

以下の会員は、定款第 6 条により正会員として理事会で承認されました。

| 会員名      | 代表者   | 住所              | 電話番号         |
|----------|-------|-----------------|--------------|
| 旭陽電気株式会社 | 金山 光雄 | 山梨県韮崎市神山町鍋山 300 | 0551-22-1213 |
| 株式会社甲斐電設 | 依田 昌樹 | 山梨県甲斐市名取 684-3  | 055-276-0682 |



**一般社団法人 山梨県情報通信業協会(YSA)** Yamanashi Information and Service Association

## 一般社団法人 山梨県情報通信業協会

〒400-0055 甲府市大津町2192-8アイメッセ山梨3階  
TEL (055) 243-2046 FAX (055) 206-0351  
URL <https://www.ysa.or.jp/>  
e-mail [staff@ysa.or.jp](mailto:staff@ysa.or.jp)